

## 障害者の生活実態(抜粋)

(平成20年度 東京都福祉保健基礎調査より)

## 調査結果の概要

## ○身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況

1	回答者の概況	P. 1
2	住居の種類	P. 2
3	一緒に生活している人	P. 2
4	医療費助成等の利用の有無	P. 3
5	障害者自立支援法による障害福祉サービス等	P. 3
6	仕事の種類	P. 4
7	作業所、授産施設等の利用経験	P. 5
8	1週間の就労日数	P. 5
9	1週間の労働時間	P. 5

## ○身体障害者の状況

1	就労の状況	P. 6
2	経済基盤	P. 10
3	社会参加	P. 12
4	情報の入手やコミュニケーションの手段	P. 14
5	日常生活の状況	P. 15
6	社会参加をする上で妨げになっていること	P. 22
7	障害のためにあきらめたり妥協したこと	P. 23
8	地域生活をする上で必要な福祉サービス等	P. 24

## ○知的障害者の状況

1	就労の状況	P. 27
2	経済基盤	P. 31
3	社会参加	P. 33
4	情報の入手やコミュニケーションの手段	P. 34
5	その他の福祉サービス等	P. 35
6	日常生活の状況	P. 36
7	社会参加をする上で妨げになっていること	P. 40
8	障害のためにあきらめたり妥協したこと	P. 41
9	成年後見制度の利用意向	P. 42

○精神障害者の状況

1	就労の状況	P. 43
2	経済基盤	P. 46
3	社会参加	P. 48
4	情報の入手やコミュニケーションの手段	P. 49
5	その他の福祉サービス等	P. 50
6	日常生活の状況	P. 51
7	社会参加をする上で妨げになっていること	P. 56
8	障害のためにあきらめたり妥協したこと	P. 57
9	成年後見制度の利用意向	P. 58

## 調査結果の概要

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者の3種類の調査票によりそれぞれの障害者ごとに調査を実施した。

調査結果も、報告書の「第2章 身体障害者の状況(19p~94p)」「第3章 知的障害者 95P~148p)」「第4章 精神障害者の状況(149p~205p)」にそれぞれの障害ごとに掲載した。

また、それぞれの障害ごとの調査票間で共通であるもののうち、相互に比較することが可能なものは、「第5章 身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況(206p~222p)」へ掲載している。

調査結果の概要は、この報告書から主な調査結果を抜粋したものである。

### ○ 身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況

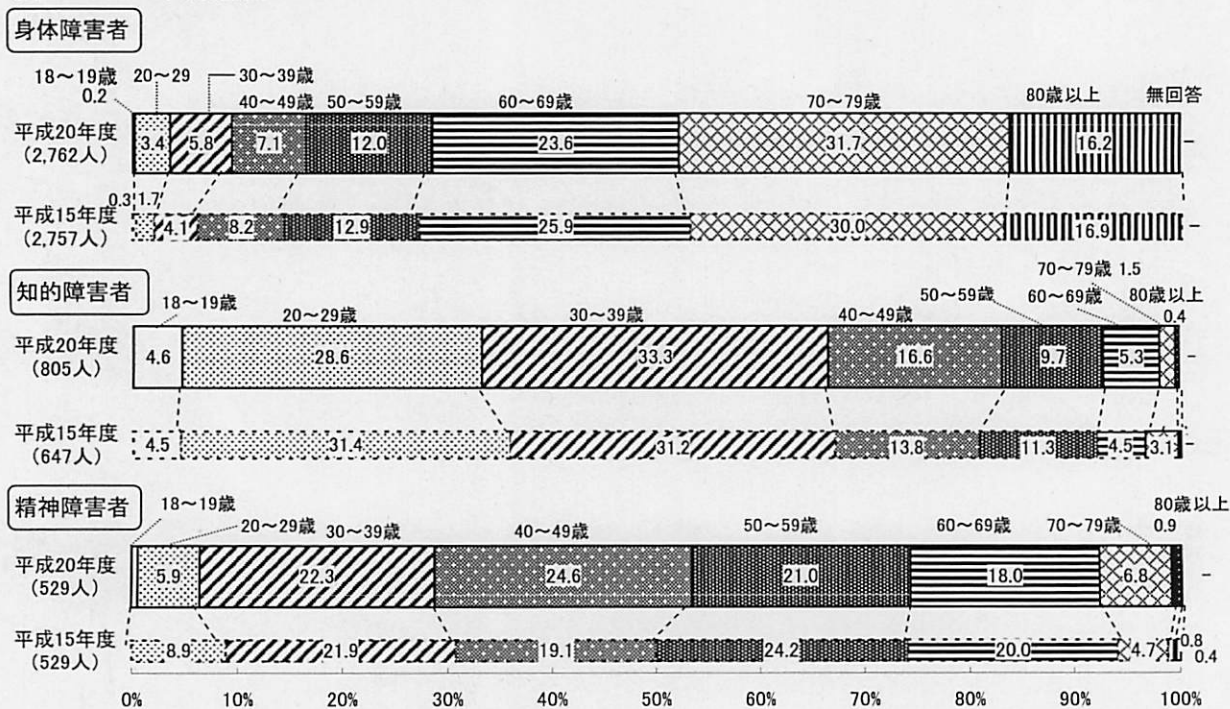
※報告書「第5章 身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況(206p~222p)」からの主な調査結果の抜粋

#### 1 回答者の概況

##### 年齢階級

回答者の年齢階級をみると、身体障害者では「70~79歳」の割合が31.7%、知的障害者では「30~39歳」が33.3%、精神障害者では「40~49歳」が24.6%とそれぞれ最も高くなっている。身体障害者は、60歳以上の割合が、71.5%と7割を超えている。(図V-1-2 本文 207p)

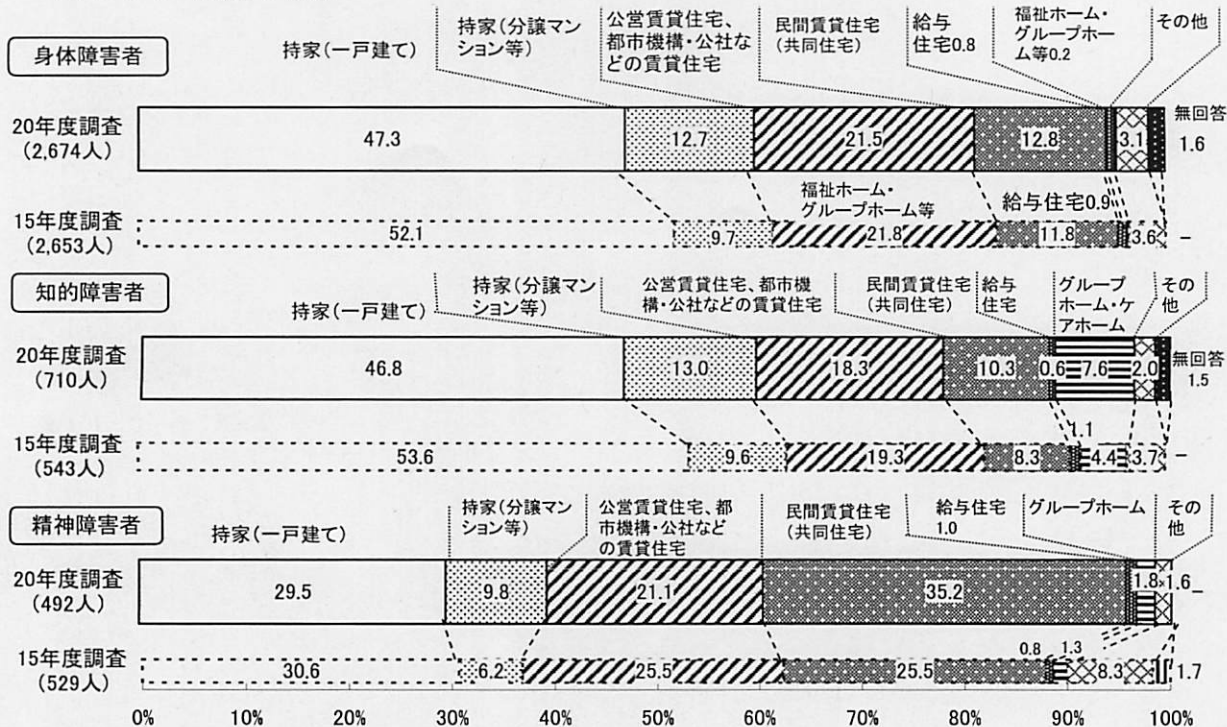
図V-1-2 年齢階級



## 2 住居の種類

在宅で生活している人に住居の種類を聞いたところ、「持家」の割合は、身体障害者では 60.1%、知的障害者では 59.7%と約 6 割であるが、精神障害者では 39.2%と約 4 割である。知的障害者の「グループホーム・ケアホーム」の割合は 7.6%で、前回調査に比べて 3.2 ポイント上昇している。(図 V-2-1 本文 208p)

図 V-2-1 住居の種類

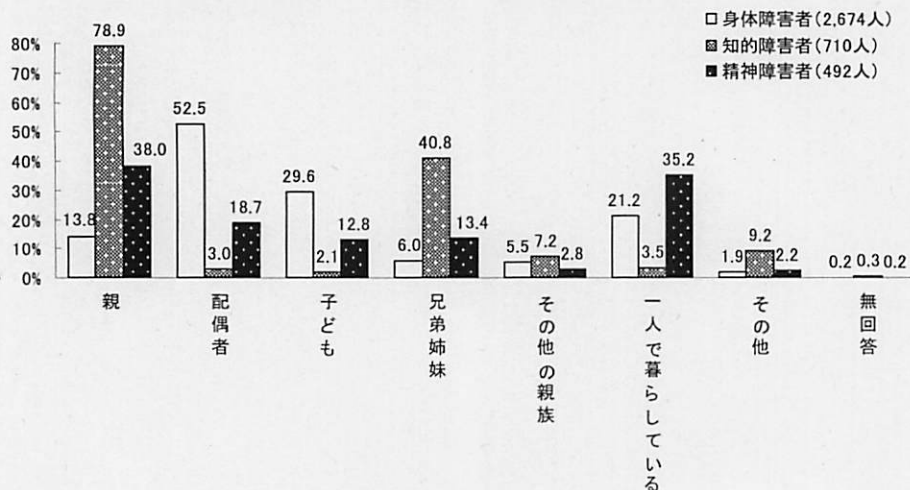


(注)住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、調査結果と所有者、賃貸の名義人とは必ずしも一致しない。

## 3 一緒に生活している人〔複数回答〕

在宅で生活している人に、現在一緒に生活している人を聞いたところ、身体障害者は「配偶者」の割合が最も高く 52.5%、知的障害者は「親」の割合が最も高く 78.9%と 8 割近くとなっている。精神障害者も「親」の割合が 38.0%と最も高いが、「一人で暮らしている」の割合も 35.2%と高くなっている。(図 V-3-1 本文 209p)

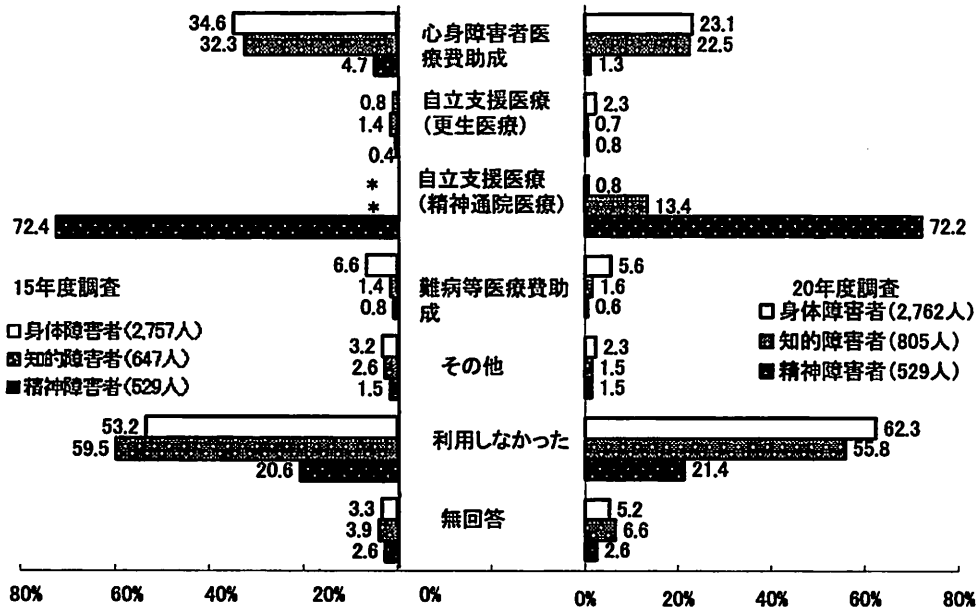
図 V-3-1 一緒に生活している人〔複数回答〕



#### 4 医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕

過去 1 年間に医療費助成等を利用したか聞いたところ、「心身障害者医療費助成」を利用した人は身体障害者 23.1%、知的障害者 22.5%と、それぞれ 2 割以上となっている。精神障害者は、「自立支援医療(精神通院医療)」を利用した人の割合が 72.2%と 7 割を超えている。(図 V-5-4 本文 212p)

図 V-5-4 医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕

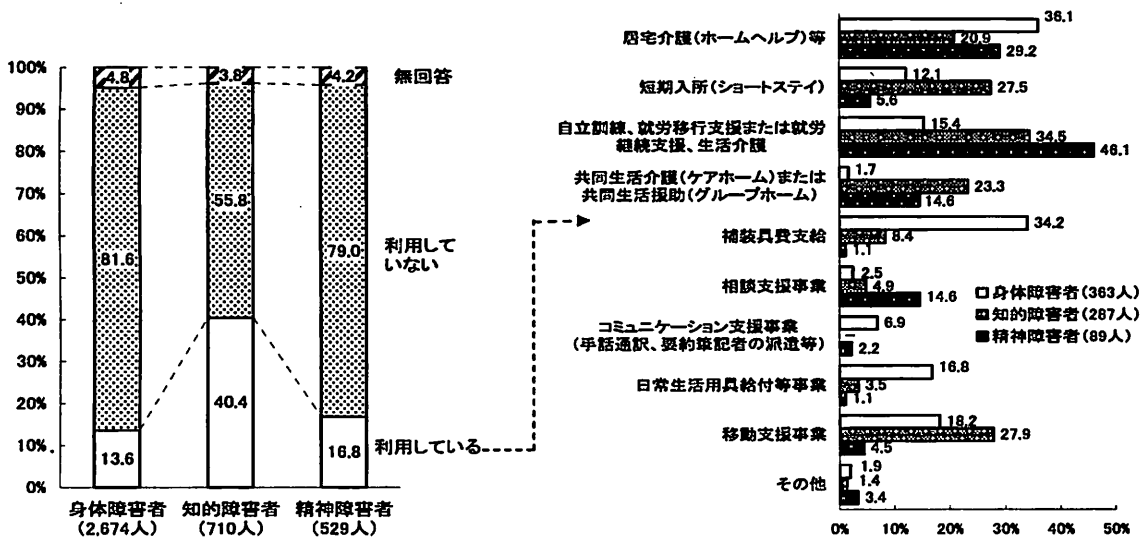


(注)・\*は前回調査時、選択肢がなかったもの。・「利用しなかった」には医療費助成等対象外の人も含む。

#### 5 障害者自立支援法による障害福祉サービス等

精神障害者及び在宅で生活している身体障害者、知的障害者に、過去 1 年間の障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況について聞いたところ、利用した人の割合は、知的障害者は 40.4%と 4 割を超えていたのに対し、身体障害者と精神障害者はそれぞれ 13.6%、16.8%と 1 割台であった。利用した内容で最も割合が高かったのは、身体障害者では「居宅介護(ホームヘルプ)等」で 36.1%、知的障害者と精神障害者は「自立訓練、就労移行支援または就労継続支援、生活介護」で、それぞれ 34.5%、46.1%となっている。(図 V-7-1 本文 218p)

図 V-7-1 障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況〔複数回答〕

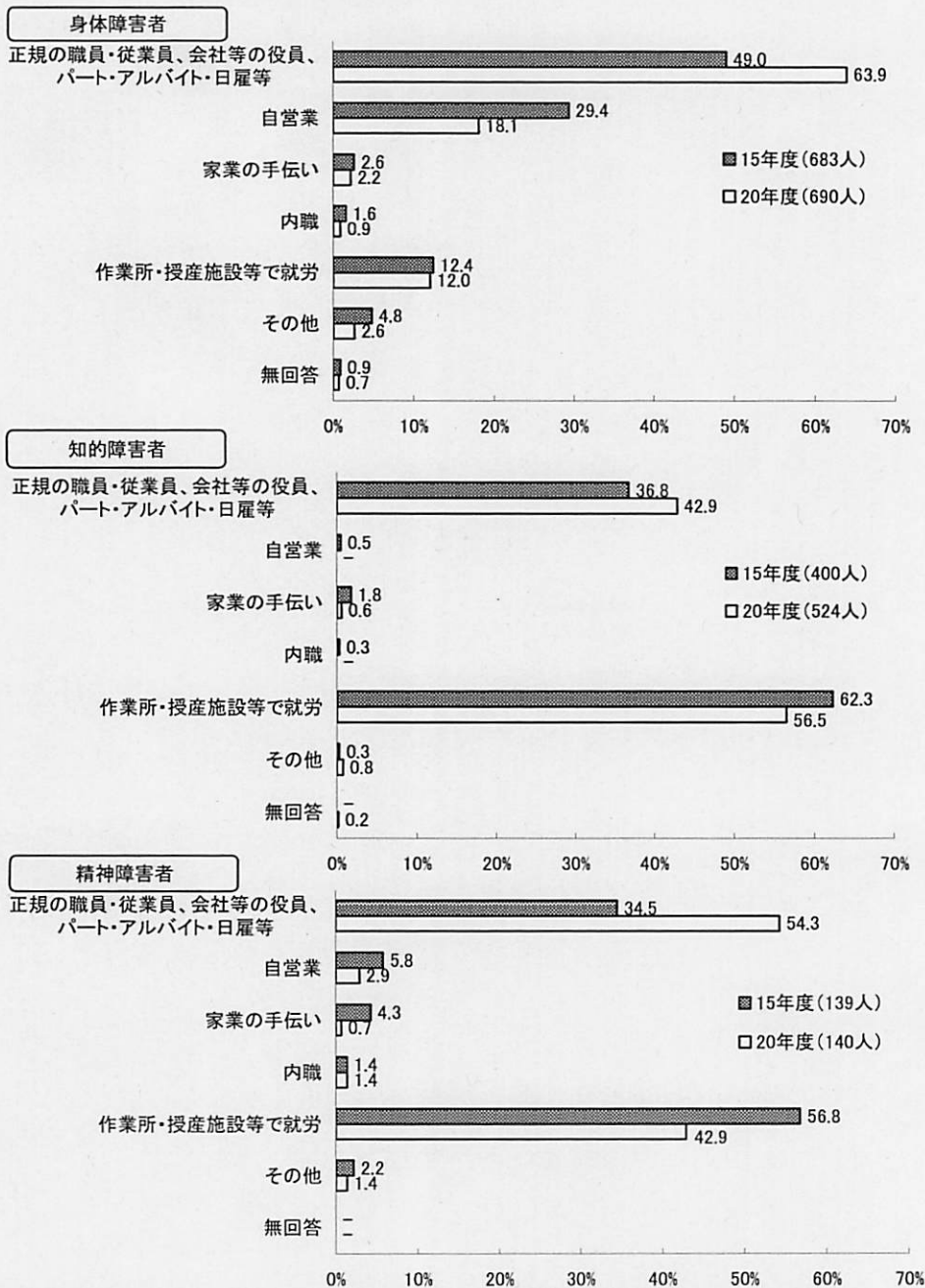


(注)「居宅介護等」には重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む。

## 6 仕事の種類〔複数回答〕

仕事の種類をみると、身体障害者と精神障害者では一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合が高く（身体障害者 63.9%、精神障害者 54.3%）、知的障害者では「作業所・授産施設等で就労」が56.5%と高くなっている。前回調査（15年度調査）と比較して、知的障害者では、「作業所・授産施設等で就労」の割合が5.8ポイント下がる一方、一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）が6.1ポイント上昇した。精神障害者では、「作業所・授産施設等で就労」の割合が13.9ポイント下がり、一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）が19.8ポイント上昇した。3障害ともに一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合が上昇している。（図V-6-2 本文214p）

図V-6-2 仕事の種類〔複数回答〕

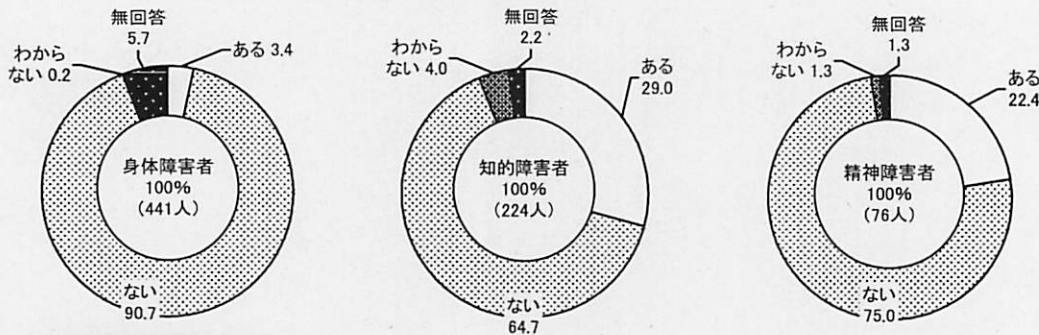


（注）20年度調査の「パート・アルバイト・日雇等」は、契約職員、派遣職員等を含む。

## 7 作業所、授産施設等の利用経験

現在仕事をしている人で、仕事の種類が「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」の人に、これまでに「作業所、授産施設等」を利用したことがあるか聞いたところ、利用したことが「ある」と答えた割合は、身体障害者では3.4%、知的障害者では29.0%、精神障害者では22.4%であり、いわゆる「福祉的就労」から「一般就労」に移行したことが伺える。(図V-6-3 本文 215p)

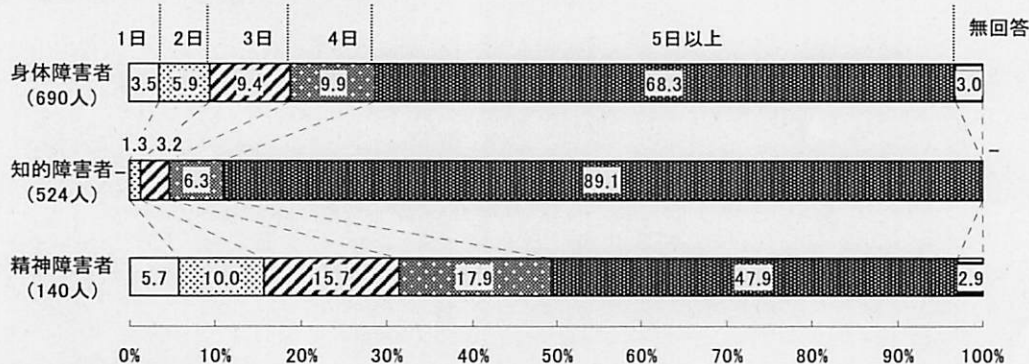
図V-6-3 作業所、授産施設等の利用経験



## 8 1週間の就労日数

仕事をしている人に1週間の就労日数を聞いたところ、3障害とも「5日以上」の割合が最も高かったが、身体障害者は68.3%、知的障害者が89.1%であるのに対し、精神障害者では47.9%と半数に満たなかった。(図V-6-4 本文 215p)

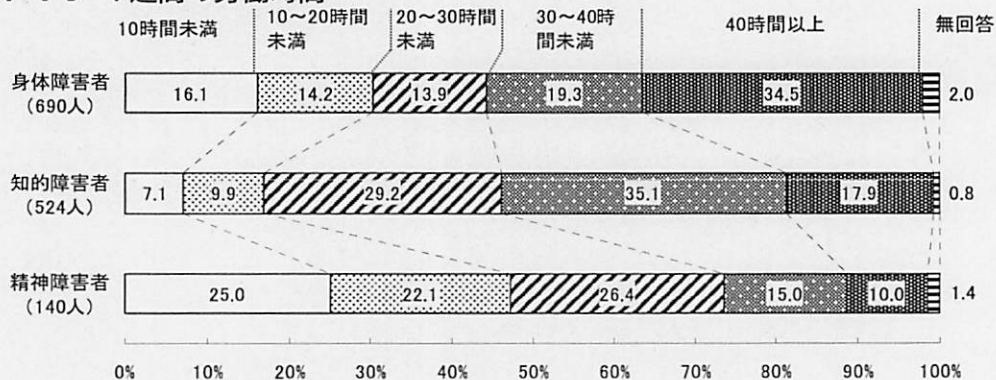
図V-6-4 1週間の就労日数



## 9 1週間の労働時間

仕事をしている人に1週間の労働時間を聞いたところ、身体障害者は「40時間以上」の割合が34.5%、知的障害者は「30～40時間未満」が35.1%、精神障害者は「20～30時間未満」が26.4%と最も高くなっている。30時間以上の人の割合は身体障害者では53.8%、知的障害者では53.1%と半数を超えているが、精神障害者は25.0%となっている。(図V-6-5 本文 216p)

図V-6-5 1週間の労働時間



# ○ 身体障害者 2,762 人(回答者) の状況

※報告書「第 2 章 身体障害者の状況(19p～94p)」からの主な結果の抜粋

## 1 就労の状況

### (1) 収入を伴う仕事の有無(調査基準日現在) - 障害名(複数回答)、年齢階級別

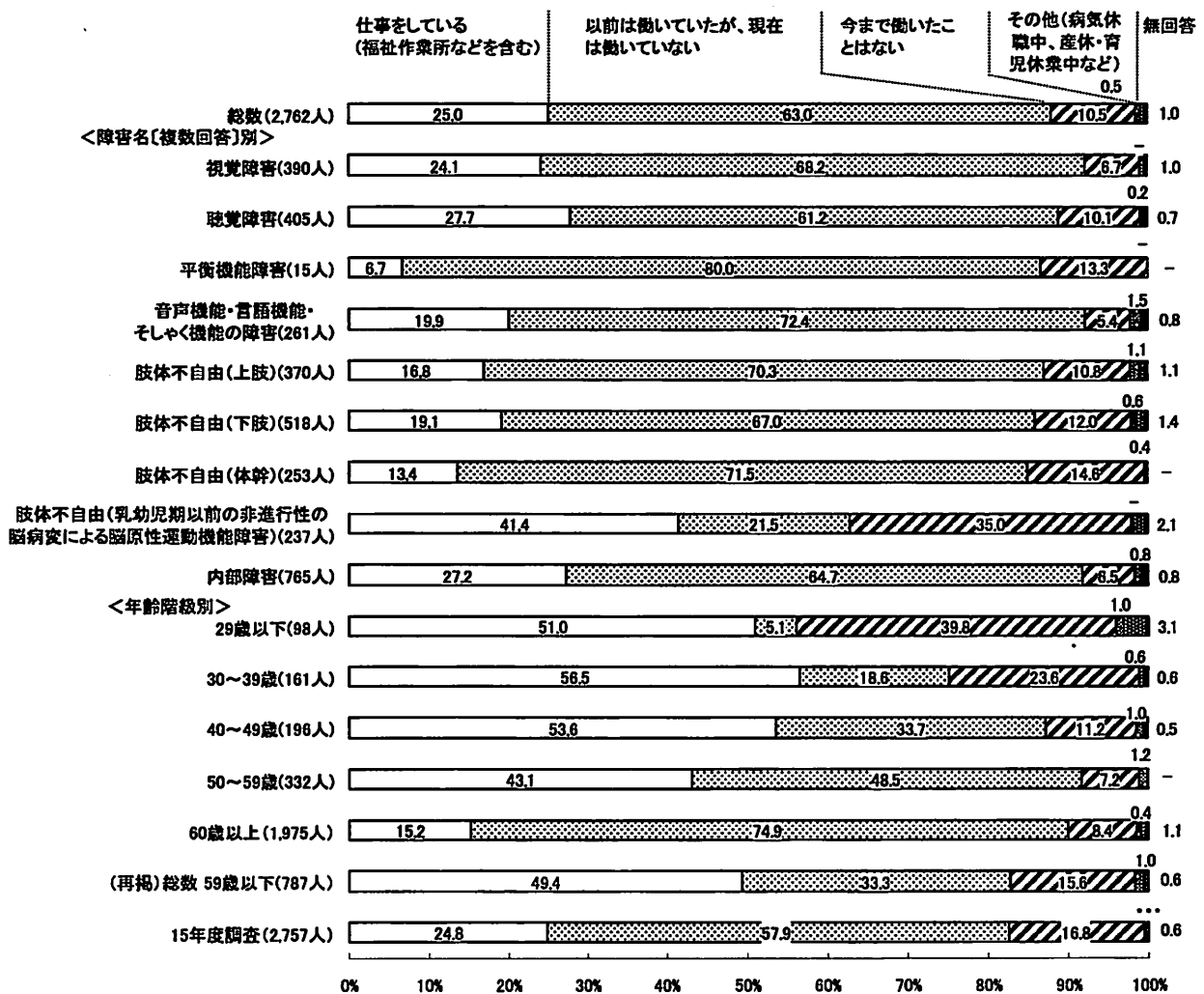
「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」人は 59 歳以下では 49.4%

収入を伴う仕事の有無は「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合が 25.0%、「以前は働いていたが現在は働いていない」が 63.0%、「今まで働いたことはない」は 10.5%であった。障害名別にみると、肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)では、「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合(41.4%)と「今まで働いたことはない」割合(35.0%)が他の障害よりも高くなっている。

年齢階級別にみると「仕事をしている(福祉作業所などを含む)」割合は、59 歳以下で 49.4%と 5 割近い。(図 II-5-1 本文 44p)

問 あなたは平成20年10月15日(調査基準日)現在、収入を伴う仕事をしていますか。

図 II-5-1 収入を伴う仕事の有無-障害名(複数回答)、年齢階級別



(注) 前回調査(15年度調査)では「その他(病気休職中、産休、育児休業中など)」の選択肢は設けていない。



(2) 仕事の種類〔複数回答〕－障害名〔複数回答〕、年齢階級別

※調査基準日現在、「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した 690 人が対象

前回調査よりも一般就労(正規の職員、アルバイト等)の割合が 14.9 ポイント上昇

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が 29.3%、「会社等の役員」が 5.7%、「パート・アルバイト・日雇等」が 29.0%で、これらを合わせた一般就労の割合は 63.9%であった。前回調査(15年度調査)の「正規の職員・従業員」と「パート・アルバイト・日雇等」を合わせた一般就労の割合(49.0%)よりも 14.9 ポイント上昇した。一方、「作業所・授産施設等で就労」の割合は 12.0%で、前回調査(15年度調査)(12.4%)よりも 0.4 ポイント減少した。

障害名別にみると一般就労(「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は、聴覚障害の割合が 74.1%と最も高く、「作業所・授産施設等で就労」は肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)の割合が 51.0%と最も高い。(表 II-5-1 本文 45p)

問 仕事の種類は何ですか。

表 II-5-1 仕事の種類〔複数回答〕－障害名〔複数回答〕、年齢階級別

	総数	員正・規 ・従の職 員	員会 社等 の役 員	日雇 等 の 職 員 等 (派 遣 職 員 ・ 契 約 職 員 を 含 む)	自 営 業	い 家 業 の 手 伝	内 職	就 産 作 業 所 等 で 授 産	そ の 他	無 回 答	
総数	100.0 (690)	29.3	5.7	29.0	18.1	2.2	0.9	12.0	2.6	0.7	
		63.9									
身体障害者 手帳の障害名 (複数回答)別	視覚障害	100.0 (94)	29.8	8.5	26.6	28.7	-	-	4.3	4.3	-
	聴覚障害	100.0 (112)	39.3	3.6	31.3	8.9	1.8	1.8	8.9	4.5	-
			74.1								
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (52)	25.0	7.7	38.5	15.4	-	1.9	11.5	-	-
	肢体不自由(上肢)	100.0 (62)	27.4	8.1	30.6	11.3	-	1.6	21.0	-	-
	肢体不自由(下肢)	100.0 (99)	29.3	3.0	28.3	16.2	4.0	1.0	15.2	2.0	1.0
	肢体不自由(体幹)	100.0 (34)	20.6	11.8	14.7	17.6	5.9	2.9	20.6	2.9	2.9
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (98)	25.5	-	16.3	3.1	-	1.0	51.0	2.0	1.0
内部障害	100.0 (208)	26.0	7.2	31.3	26.4	3.4	1.0	2.4	1.9	1.0	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (50)	32.0	2.0	32.0	-	-	-	34.0	2.0	-
	30～39歳	100.0 (91)	50.5	1.1	17.6	5.5	2.2	-	20.9	-	2.2
	40～49歳	100.0 (105)	48.6	-	21.0	5.7	-	-	22.9	1.9	-
	50～59歳	100.0 (143)	34.3	6.3	31.5	16.1	2.8	-	7.0	2.1	-
	60歳以上	100.0 (301)	13.2	9.3	33.6	30.2	3.0	2.0	4.3	4.0	1.0
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (201)	8.0	10.4	33.3	32.3	3.5	2.5	4.5	5.0	1.0
15年度調査	100.0 (683)	34.4	...	14.6	29.4	2.6	1.6	12.4	4.8	0.9	
		49.0									

(注)・前回調査(15年度調査)では「会社等の役員」は「正規の職員・従業員」に含めて聞いている。

・本文中のパート・アルバイト・日雇等には派遣職員・契約職員を含む。

### (3) 1週間の労働時間－障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別

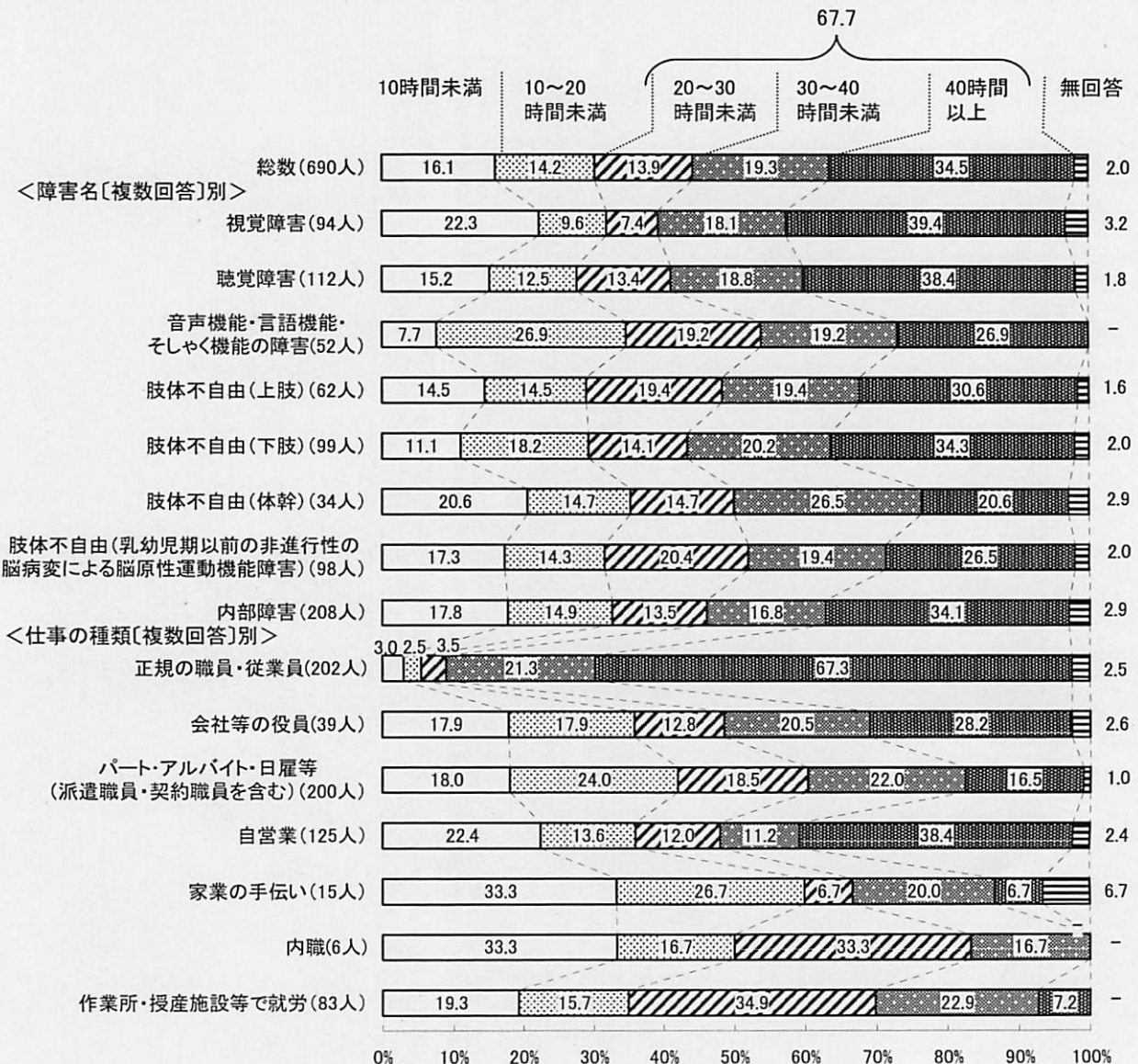
※調査基準日現在、「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した690人が対象

1週間に20時間以上労働している人の割合は67.7%で、作業所・授産施設等では「20～30時間未満」の割合が最も高い

1週間の労働時間を見ると「40時間以上」の割合が最も高く34.5%、次いで「30～40時間未満」が19.3%であった。「20時間以上」労働している割合は67.7%となっている。障害名別にみると、「40時間以上」の割合が高いのは、視覚障害(39.4%)、聴覚障害(38.4%)で4割弱である。仕事の種類別にみると、作業所・授産施設で就労している人は「20～30時間未満」の割合が34.9%と最も高い。(図II-5-3 本文47p)

問 1週間の労働時間はどのくらいですか。

図II-5-3 1週間の労働時間－障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別



(4) 仕事をしていく上で困ること (3つまでの複数回答)

—身体障害者手帳の障害名 (複数回答)、仕事の種類 (複数回答) 別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等 (契約職員、派遣職員を含む) である 441 人が対象

仕事をしていく上で困ることは、総数では「定期的な通院や健康管理との両立」の割合が最も高いが、障害の種類によって困ることが異なる

仕事をしていく上で「困ることがある」と答えた割合は 55.3%、「困ることは特にない」が 43.5%であった。困ることの内容は、「定期的な通院や健康管理との両立」の割合が 12.2%と最も高い。

障害名別にみると、視覚障害では「通勤時の混雑」(21.3%)の割合が他の障害よりも高く、音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害では「言いたいことを伝える手段・方法がない」(29.7%)や「言いたいことの内容が相手に通じない」(45.9%)の割合が他の障害よりも高くなっている。また、肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)では「人間関係(職場内でのいじめなど)」(19.5%)、内部障害では「定期的な通院や健康管理との両立」(22.4%)の割合がそれぞれ他の障害よりも高いが目立つ。

仕事の種類別にみると「困ることがある」の割合は正規の職員・従業員で高く 62.9%であった。(表 II-5-3 本文 52p)

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表 II-5-3 仕事をしていく上で困ること (3つまでの複数回答)

—身体障害者手帳の障害名 (複数回答)、仕事の種類 (複数回答) 別

	総数	困ることがある	困る内容											困ることは特にない	無回答	
			仕事の内容	人間関係(職場内でのいじめなど)	言いたいことを伝える手段・方法がない	言いたいことの内容が相手に通じない	職場の物理的環境(バリアフリー化)	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	立寄り・介護との両立	その他			
総数	100.0 (441)	55.3	9.5	10.4	6.1	10.4	6.6	7.3	7.5	10.4	12.2	1.4	13.2	43.5	1.1	
身体障害者手帳の障害名 (複数回答) 別	視覚障害 (61)	100.0	62.3	11.5	9.8	1.6	3.3	16.4	1.6	3.3	21.3	9.8	1.6	18.0	34.4	3.3
	聴覚障害 (83)	100.0	60.2	15.7	14.5	12.0	19.3	7.2	6.0	7.2	3.6	3.6	2.4	18.1	38.6	1.2
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 (37)	100.0	64.9	2.7	8.1	29.7	45.9	-	-	2.7	2.7	5.4	-	10.8	35.1	-
	肢体不自由(上肢) (41)	100.0	41.5	14.6	7.3	-	2.4	4.9	-	2.4	7.3	2.4	2.4	14.6	58.5	-
	肢体不自由(下肢) (60)	100.0	58.3	13.3	13.3	5.0	3.3	10.0	10.0	13.3	13.3	15.0	3.3	15.0	41.7	-
	肢体不自由(体幹) (16)	100.0	68.8	18.8	6.3	-	6.3	12.5	-	12.5	12.5	12.5	6.3	18.8	31.3	-
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害) (41)	100.0	61.0	9.8	19.5	7.3	17.1	12.2	2.4	12.2	12.2	9.8	2.4	12.2	36.6	2.4
	内部障害 (134)	100.0	47.8	4.5	6.0	1.5	3.7	1.5	14.2	7.5	10.4	22.4	-	7.5	50.7	1.5
仕事の種類 (複数回答) 別	正規の職員・従業員 (202)	100.0	62.9	11.9	13.4	7.9	10.4	8.9	5.9	8.9	15.3	17.8	2.0	10.9	34.7	2.5
	会社等の役員 (39)	100.0	48.2	7.7	2.6	-	12.8	7.7	2.6	-	5.1	12.8	-	17.9	53.8	-
	パート・アルバイト・日雇等(派遣職員・契約職員を含む) (200)	100.0	49.5	7.5	9.0	5.5	10.0	4.0	9.5	7.5	6.5	6.5	1.0	14.5	50.5	-

## 2 経済基盤

### (1) 収入の種類〔3つまでの複数回答〕－障害名〔複数回答〕別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が最も高く76.5%

平成19年中の収入の種類を聞いたところ、「年金・恩給」の割合が最も高く76.5%、次いで「手当」22.8%、「賃金・給料」19.6%、「生活保護費」7.0%となっている。

年齢階級別にみると、「生活保護費」の割合は、40代は9.2%、50代では13.3%と総数(7.0%)よりも高いのが目立つ。(表Ⅱ-6-1 本文59p)

問 平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きます。

表Ⅱ-6-1 収入の種類〔3つまでの複数回答〕－障害名〔複数回答〕別

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	金 保険金・補償	賃 作業所等の工賃	その他の収入	た 収入はなかつた	無 回答	
総数	100.0 (2,782)	19.6	2.9	0.3	5.6	1.1	0.8	76.5	7.0	22.8	0.3	0.4	2.2	3.0	3.5	1.0	
身体障害者 手帳の障害名〔複数回答分〕別	視覚障害	100.0 (390)	18.7	3.3	-	5.4	1.3	1.8	75.4	8.2	23.6	0.3	0.3	0.5	2.1	4.9	0.8
	聴覚障害	100.0 (405)	22.5	1.7	0.7	4.2	1.5	1.0	78.3	5.2	18.0	-	-	1.5	2.5	3.7	0.7
	平衡機能障害	100.0 (15)	13.3	-	-	6.7	-	6.7	80.0	6.7	13.3	-	-	-	-	-	-
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	16.1	3.1	-	5.0	0.8	1.5	72.8	9.2	20.7	1.5	1.9	2.3	5.4	2.7	1.1
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	12.7	1.9	0.5	5.4	0.8	1.1	75.7	9.2	23.0	-	0.5	3.2	3.0	4.3	3.0
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	15.1	1.5	0.4	7.7	1.2	1.0	76.1	8.3	21.2	-	0.4	2.5	1.9	4.8	1.7
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	9.5	0.8	0.4	5.1	0.8	1.2	84.6	5.9	32.0	-	-	2.8	1.6	2.4	0.8
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	21.9	0.8	0.4	1.3	-	1.3	77.6	5.5	54.0	-	0.4	15.2	1.7	3.0	1.3
内部障害	100.0 (785)	22.5	4.7	0.4	6.3	1.3	0.3	76.7	6.4	19.0	0.5	0.3	0.7	3.9	2.5	0.4	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (98)	36.7	-	-	-	-	1.0	65.3	1.0	46.9	1.0	1.0	11.2	1.0	6.1	3.1
	30～39歳	100.0 (181)	42.2	1.9	-	0.6	0.6	1.2	65.2	2.5	44.7	-	-	9.3	1.9	3.7	1.2
	40～49歳	100.0 (196)	46.9	-	0.5	1.5	0.5	-	46.9	9.2	37.8	1.0	0.5	9.2	1.5	8.7	1.5
	50～59歳	100.0 (332)	37.3	3.9	-	2.7	1.5	1.2	43.7	13.3	28.9	0.6	0.6	2.1	4.8	7.2	0.6
	60～69歳	100.0 (651)	22.7	4.0	0.8	4.5	0.9	0.6	74.7	8.9	23.8	0.5	0.5	0.9	3.1	3.4	1.1
	70～79歳	100.0 (876)	6.8	3.4	0.3	7.9	0.9	0.6	90.8	5.8	14.6	0.1	0.5	0.5	3.4	2.2	0.8
	80歳以上	100.0 (448)	2.7	1.8	-	9.6	2.0	1.1	94.9	3.6	12.9	-	-	0.2	2.2	0.9	1.1
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (1,693)	8.0	2.7	0.5	7.8	1.2	0.7	90.6	5.6	15.7	0.1	0.3	0.4	3.0	1.9	0.9
15年度調査	100.0 (2,757)	18.7	6.1	0.7	6.0	0.9	1.1	74.5	6.4	31.5	0.4	0.4	...	2.0	3.6	0.7	

(注) 前回調査(15年度調査)では「作業所等の工賃」は「賃金・給料」に含めて聞いている。

(2) 平成19年中の収入額（生活保護費を除く）－障害名（複数回答）、年齢階級別

年収は「50万円～100万円未満」の割合が最も高い

平成19年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が最も高く20.5%、次いで「100～150万円未満」が15.8%である。（表Ⅱ-6-2 本文63p）

問 あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や福祉作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

表Ⅱ-6-2 平成19年中の収入額（生活保護費を除く）－障害名（複数回答）・年齢階級別

	総数	収入なし	50万円未満	50万円未満10万円	10万円未満15万円	15万円未満20万円	20万円未満25万円	25万円未満30万円	30万円未満35万円	35万円未満40万円	40万円未満45万円	45万円未満50万円	50万円以上	無回答	
総数	100.0 (2,782)	6.8	9.1	20.5	15.8	10.8	9.9	7.1	6.8	3.1	2.0	1.3	3.1	3.8	
身体障害者手帳の障害名（複数回答）別	視覚障害	100.0 (390)	9.5	10.8	23.6	15.6	7.7	8.7	5.9	5.6	2.8	1.8	1.5	2.8	3.6
	聴覚障害	100.0 (405)	6.2	7.2	20.2	19.8	9.9	9.4	6.9	9.6	2.2	1.7	1.7	1.7	3.5
	平衡機能障害	100.0 (15)	6.7	6.7	26.7	-	6.7	33.3	6.7	6.7	-	-	-	-	6.7
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	8.4	5.4	19.2	11.5	14.9	10.7	8.0	8.4	2.3	1.9	1.1	5.4	2.7
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	8.6	11.4	23.0	12.4	10.8	7.8	7.8	5.7	2.4	1.4	0.8	2.2	5.7
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	8.3	11.6	22.6	15.4	11.2	8.3	6.4	4.6	2.3	2.1	0.2	3.1	3.9
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	5.9	8.7	23.7	15.8	11.9	13.0	6.3	5.1	2.4	1.2	1.6	0.8	3.6
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による器質性運動機能障害)	100.0 (237)	3.4	8.0	24.5	23.6	13.9	10.5	3.8	4.6	1.3	0.8	0.4	0.8	4.2
	内部障害	100.0 (765)	5.4	9.3	16.7	13.7	9.7	11.0	9.4	8.0	4.8	2.7	1.7	4.0	3.5
年齢階級別	29歳以下	100.0 (98)	9.2	8.2	27.6	19.4	15.3	9.2	5.1	2.0	1.0	-	-	-	3.1
	30～39歳	100.0 (161)	4.3	3.7	18.6	17.4	16.8	8.7	6.2	8.1	6.8	3.1	2.5	0.6	3.1
	40～49歳	100.0 (196)	10.7	8.2	18.9	14.3	7.7	7.1	6.1	6.6	4.6	5.1	3.1	4.1	3.6
	50～59歳	100.0 (332)	13.9	11.1	17.8	13.3	8.1	8.4	3.9	5.7	3.3	3.3	1.5	6.0	3.6
	60～69歳	100.0 (651)	8.4	10.1	20.3	16.9	9.2	9.7	7.2	5.7	3.2	1.4	1.1	3.4	3.4
	70～79歳	100.0 (876)	4.3	8.8	22.9	14.4	11.8	12.4	7.6	6.3	2.9	1.4	0.9	2.7	3.7
	80歳以上	100.0 (448)	2.7	8.9	17.9	18.1	11.4	8.0	9.2	10.9	1.8	1.8	1.1	2.6	5.6
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (1,693)	4.3	8.6	21.4	16.4	11.2	11.2	8.3	7.0	2.5	1.4	0.9	2.7	4.1
15年度調査	100.0 (2,757)	5.8	11.0	20.2	14.5	9.6	9.2	6.3	8.5	3.0	2.5	1.4	3.4	4.6	

### 3 社会参加

#### (1) 現在利用している通所施設に対する不満〔複数回答〕－障害名〔複数回答〕、年齢階級別

※平日の日中主に通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている170人が対象

現在利用している施設に対する不満の内容は「工賃が少ない」の割合が最も高い

平日の日中主に通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている人で、現在利用している施設に「不満がある」と答えた割合は37.1%、「不満はない」は56.5%であった。不満の内容は、「工賃が少ない」の割合が11.8%で最も高く、年齢階級別でみると40代で「工賃が少ない」と答えた割合が30.8%と高くなっている。(表II-7-2 本文65p)

問 あなたは、現在利用している施設に対して不満はありますか。

表II-7-2 現在利用している通所施設に対する不満〔複数回答〕

－障害名〔複数回答〕、年齢階級別

	総数	不満がある	不満がない	言えないことが	情報やコミュニケーションがとれない	不満がある利用者に	職員の接し方に	外通所者・職員との交流がない	訓練や作業にや	工賃が少ない	医療的ケアが足	その他	不満はない	無回答
総数	100.0 (170)	37.1	1.2	5.9	2.9	10.0	1.8	2.4	11.8	6.5	10.0	56.5	6.5	
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害 (8)	100.0	37.5	-	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	62.5	-	
	聴覚障害 (18)	100.0	22.2	5.6	5.6	-	5.6	-	-	11.1	-	5.6	77.8	-
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 (11)	100.0	45.5	9.1	18.2	-	9.1	18.2	-	-	9.1	9.1	36.4	18.2
	肢体不自由(上肢) (30)	100.0	50.0	-	6.7	3.3	6.7	6.7	3.3	16.7	10.0	20.0	43.3	6.7
	肢体不自由(下肢) (32)	100.0	43.8	-	3.1	-	9.4	-	3.1	15.6	12.5	18.8	50.0	6.3
	肢体不自由(体幹) (28)	100.0	60.7	-	14.3	7.1	7.1	3.6	3.6	14.3	17.9	17.9	32.1	7.1
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害) (90)	100.0	40.0	-	4.4	3.3	13.3	2.2	2.2	14.4	7.8	11.1	53.3	6.7
	内部障害 (9)	100.0	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	88.9	-
年齢階級別	29歳以下 (43)	100.0	32.6	-	4.7	4.7	7.0	-	2.3	4.7	4.7	11.6	60.5	7.0
	30～39歳 (39)	100.0	51.3	-	2.6	5.1	15.4	-	2.6	17.9	7.7	12.8	38.5	10.3
	40～49歳 (26)	100.0	38.5	-	3.8	-	19.2	3.8	-	30.8	7.7	7.7	53.8	7.7
	50～59歳 (14)	100.0	42.9	7.1	14.3	-	7.1	7.1	7.1	14.3	-	7.1	57.1	-
	60～69歳 (10)	100.0	40.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	10.0	20.0	50.0	10.0
	70～79歳 (20)	100.0	35.0	5.0	15.0	5.0	5.0	5.0	-	-	5.0	10.0	65.0	-
	80歳以上 (18)	100.0	11.1	-	-	-	-	-	-	5.6	-	5.6	-	83.3
(再掲)総数 65歳以上 (42)	100.0	23.8	2.4	7.1	2.4	2.4	2.4	2.4	-	7.1	4.8	71.4	4.8	

(2) 社会参加をする上で妨げになっていること (3つまでの複数回答)

—障害名 (複数回答)、平日の日中主に過ごしたところ別

「電車やバスなどを使っての移動が不便」「道路や駅などの利用が不便」の割合は前回調査よりも減少

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「電車やバスなどを使っての移動が不便」(21.5%)、「道路や駅などの利用が不便」(20.5%)の割合が高くなっている。

平日の日中主に過ごしたところ別にみると、通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている人は「利用する建物の設備が整備されていない」の割合が21.8%で総数(7.8%)よりも高いのが目立つ。

前回調査(15年度調査)と比べると「道路や駅などの利用が不便」の割合は5.7ポイント減少、「電車やバスなどを使っての移動が不便」も2.6ポイント減少した。(表II-7-4 本文67p)

問 あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。

表II-7-4 社会参加する上で妨げになっていること (3つまでの複数回答)

—障害名 (複数回答)、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	道路や駅などの利用が不便	移動が不便	利用されていない設備が整備	点字版が古い、破損等により利用が不便	介助者がいない	情報が無い	FAX番号やメールアドレスなどの連絡方法の整備がされないため、参加連絡などの問い合わせができない	理解不足	周りの人の障害者に対する拒否される	適切な指導者がいない	一緒に行く仲間がいない	障害者の参加を想定していないため、通訳、字幕、点字など配慮がされていない	その他	特にな	無回答	
総数	100.0 (2,762)	20.5	21.5	7.8	0.3	7.9	5.0	1.8	10.9	0.9	1.6	6.3	2.6	12.7	41.8	5.0	
身体障害者手帳の障害名(複数回答)別	視覚障害	100.0 (390)	29.7	30.0	6.9	1.5	10.8	5.1	2.3	13.3	2.1	3.3	6.7	4.1	13.6	31.0	4.9
	聴覚障害	100.0 (405)	10.1	11.6	3.5	-	4.7	9.4	4.9	17.3	0.7	1.2	8.6	10.4	11.9	45.4	4.0
	平衡機能障害	100.0 (15)	20.0	26.7	-	-	13.3	-	6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	33.3	6.7
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	11.1	14.6	4.6	-	7.7	5.7	4.2	14.6	1.9	2.3	8.8	5.0	14.6	39.5	5.7
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	27.8	29.7	12.2	0.3	14.1	4.6	0.5	7.6	0.8	0.8	7.6	1.1	14.9	33.5	5.9
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	32.8	32.2	12.4	-	9.1	5.0	0.8	8.5	0.4	1.5	5.8	1.0	12.9	33.6	3.9
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	31.2	30.8	11.1	-	12.6	2.0	0.4	7.9	0.8	0.8	3.6	0.4	18.6	28.9	7.1
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	29.5	30.8	19.8	-	18.6	4.2	1.3	18.1	2.1	3.0	9.3	0.8	9.7	27.0	3.8
内部障害	100.0 (765)	12.4	12.7	3.5	-	3.3	3.8	0.8	7.1	0.4	1.2	4.7	0.4	12.7	55.8	5.5	
平日の日中主に過ごしたところ別	自分の家	100.0 (2,004)	21.8	23.2	7.1	0.3	8.1	5.1	1.7	10.5	0.7	1.5	6.8	2.4	12.4	41.4	4.5
	職場	100.0 (400)	15.3	15.5	6.3	0.3	2.0	6.0	3.0	16.3	1.3	0.8	3.5	4.3	9.5	51.5	4.5
	学校	100.0 (8)	12.5	-	12.5	-	25.0	12.5	-	-	-	12.5	12.5	-	-	62.5	-
	通所施設(作業所、デイケア等を含む)	100.0 (170)	27.6	27.1	21.8	-	18.2	2.9	1.8	9.4	1.2	2.4	7.6	1.8	11.2	28.2	5.3
	入所施設	100.0 (86)	12.8	15.1	3.5	-	14.0	2.3	-	5.8	2.3	1.2	1.2	2.3	30.2	36.0	7.0
	その他	100.0 (74)	12.2	6.8	9.5	-	2.7	1.4	1.4	5.4	2.7	4.1	2.7	1.4	23.0	43.2	6.8
	15年度調査	100.0 (2,757)	28.2	24.1	8.6	...	8.4	6.9	2.2	14.8	1.0	3.7	7.7	4.6	6.2	44.4	1.8

(注) 前回調査(15年度調査)では「点字版が古い、破損等により利用が不便」の選択肢は設けていない。

## 4 情報の入手やコミュニケーションの手段

### (1) 情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ること (視覚障害者) [2つまでの複数回答] ※視覚障害者 390人が対象

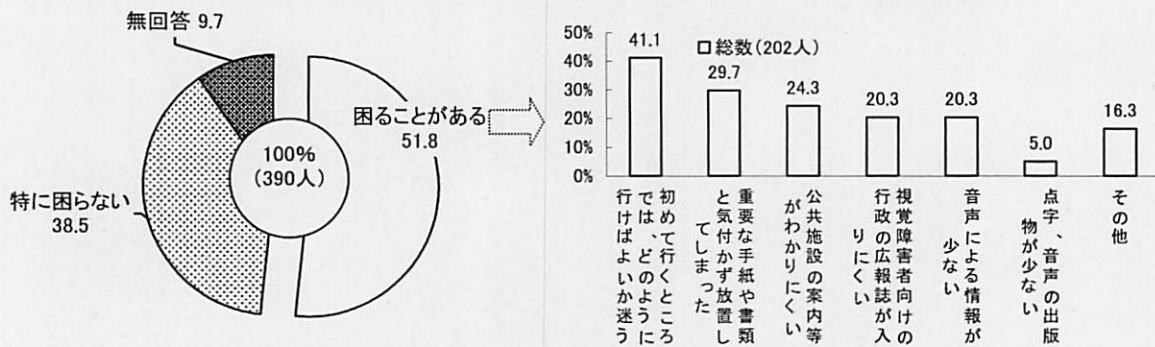
視覚障害者が情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることは、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」の割合が最も高い

情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ「困ることがある」と答えた割合は51.8%と半数以上の人困ることがあると回答した。

困る内容で最も割合が高かったのは、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」で41.1%であった。(図II-8-2 本文 70p)

問 あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図II-8-2 情報を入力したりコミュニケーションをとる上で困ること (視覚障害者)



### (2) 情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ること (聴覚障害者) [2つまでの複数回答] ※聴覚障害者 405人が対象

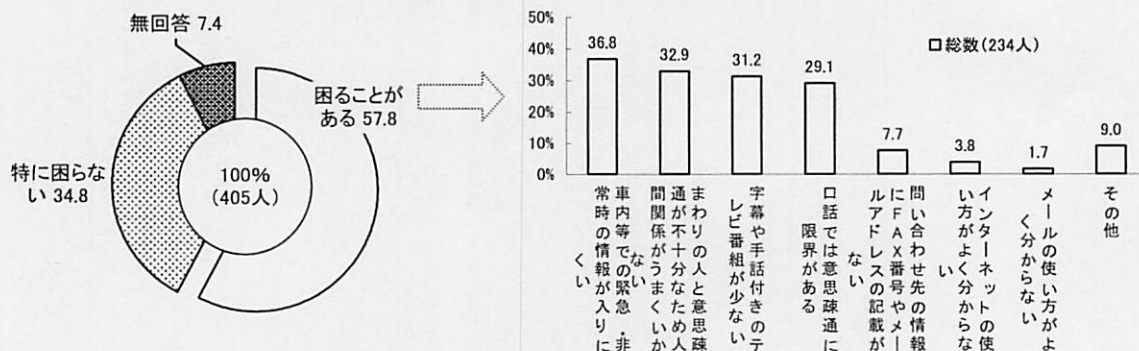
聴覚障害者が情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることは、「車内等での緊急・非常時の情報が入りにくい」の割合が最も高い

情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ「困ることがある」と答えた割合は57.8%と半数以上の人困ることがあると回答した。

困る内容で最も割合が高かったのは、「車内等での緊急・非常時の情報が入りにくい」で36.8%であった。(図II-8-4 本文 72p)

問 あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図II-8-4 情報を入力したりコミュニケーションをとる上で困ること (聴覚障害者)





## 5 日常生活の状況

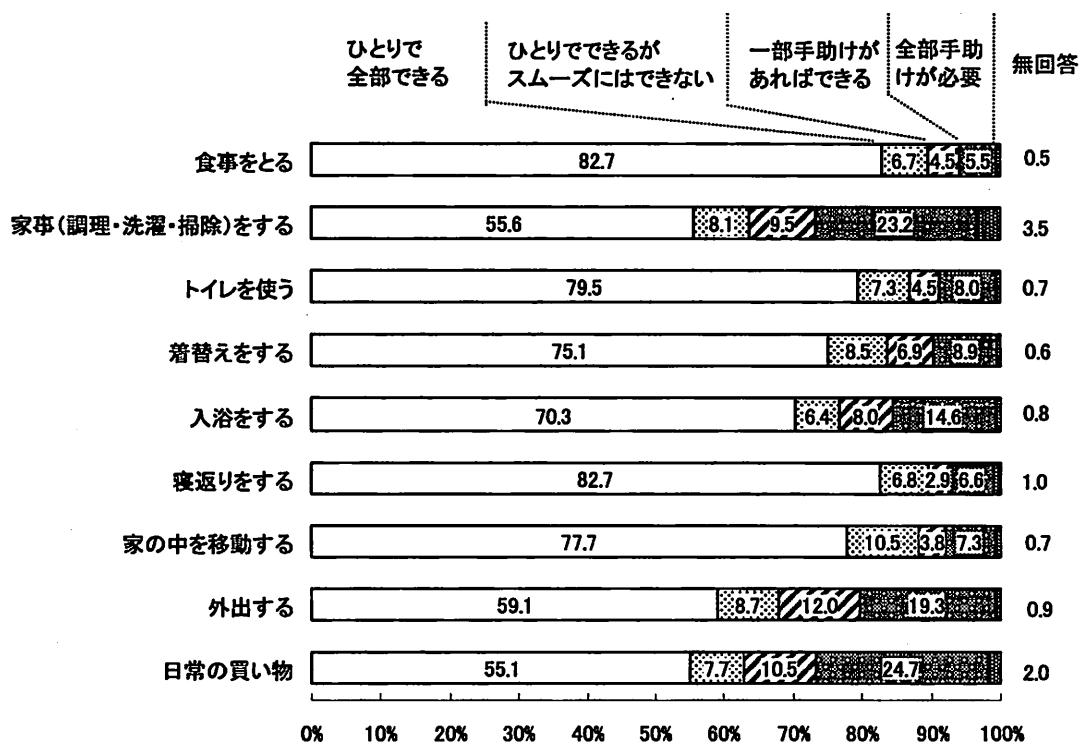
### (1) 日常生活動作能力

日常生活動作能力で「ひとりで全部できる」割合が低いのは、日常の買い物と家事（調理・洗濯・掃除）でそれぞれ6割未満

9項目の日常生活動作能力のうち、「ひとりで全部できる」と答えた割合が最も高いのは、食事をする及び寝返りをするで、それぞれ82.7%である。一方、割合が低いのは、日常の買い物の55.1%と、家事（調理・洗濯・掃除）の55.6%となっている。（図Ⅱ-4-1）

問 あなたは次の動作について、自分一人ですみますか。

図Ⅱ-4-1 日常生活動作能力



(注)・できる、できないの判断について現に補装具等を使用している人は、使用した状態で聞いている。

・総数は9項目とも2,762人である。

(2) 日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)  
 - 障害を持った時期、身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別

日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う) を障害を持った時期別にみると、「b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする」について「全部手助けが必要」の割合は、出生前または出生時が最も高く 38.4% であった。

身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別にみると、「a 食事をとる」「c トイレを使う」ことが「ひとりで全部できる」割合は、3 級～6 級の人で 8 割以上となっている。(表 II-4-1)

表 II-4-1 日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う) - 障害を持った時期、身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別

	a 食事をとる						b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする						c トイレを使う								
	総数	きひとり で全部で	でき ない	ひとり でできる	一部 手助け がある	全部 手助け が必要	無 回答	総数	きひとり で全部で	でき ない	ひとり でできる	一部 手助け がある	全部 手助け が必要	無 回答	総数	きひとり で全部で	でき ない	ひとり でできる	一部 手助け がある	全部 手助け が必要	無 回答
総数	100.0 (2,762)	82.7	6.7	4.5	5.5	0.5	100.0 (2,762)	55.6	8.1	9.5	23.2	3.5	100.0 (2,762)	79.5	7.3	4.5	8.0	0.7			
障害を持った時期別	出生前または出生時	100.0 (372)	65.6	8.6	7.8	17.5	0.5	100.0 (372)	41.9	7.5	11.0	38.4	1.1	100.0 (372)	63.4	8.1	8.3	20.2	-		
	0～3歳	100.0 (108)	75.5	6.6	7.5	10.4	-	100.0 (108)	53.8	6.6	12.3	22.6	4.7	100.0 (108)	74.5	5.7	5.7	13.2	0.9		
	4～12歳	100.0 (90)	87.8	4.4	3.3	4.4	-	100.0 (90)	72.2	8.9	2.2	14.4	2.2	100.0 (90)	87.8	4.4	1.1	5.6	1.1		
	13～17歳	100.0 (30)	93.3	-	3.3	3.3	-	100.0 (30)	70.0	6.7	16.7	6.7	-	100.0 (30)	86.7	6.7	3.3	3.3	-		
	18歳～29歳	100.0 (135)	93.3	0.7	2.2	2.2	1.5	100.0 (135)	65.2	5.2	11.9	14.1	3.7	100.0 (135)	88.1	5.2	0.7	3.7	2.2		
	30歳～39歳	100.0 (145)	90.3	6.9	2.1	-	0.7	100.0 (145)	64.8	9.0	9.7	14.5	2.1	100.0 (145)	84.1	11.0	2.8	1.4	0.7		
	40歳～49歳	100.0 (248)	83.5	8.9	4.8	2.0	0.8	100.0 (248)	61.7	9.7	9.7	16.5	2.4	100.0 (248)	83.9	8.9	2.4	4.4	0.4		
	50歳～59歳	100.0 (520)	85.2	7.1	4.4	2.5	0.8	100.0 (520)	60.2	8.8	10.0	17.9	3.1	100.0 (520)	83.5	8.1	4.0	3.8	0.6		
	60歳～69歳	100.0 (578)	87.0	6.1	2.9	3.8	0.2	100.0 (578)	53.8	8.3	8.1	24.4	5.4	100.0 (578)	82.2	5.7	5.7	5.7	0.7		
	70歳以上	100.0 (428)	83.9	7.2	4.2	4.4	0.2	100.0 (428)	53.5	7.5	8.4	26.4	4.2	100.0 (428)	79.2	7.5	4.0	8.9	0.5		
(再掲) 65歳以上	100.0 (729)	84.8	7.1	3.4	4.5	0.1	100.0 (729)	53.3	7.8	8.2	25.8	4.7	100.0 (729)	79.6	6.3	5.3	8.2	0.5			
身体障害者手帳の等級別	1級	100.0 (951)	72.7	8.0	6.5	12.3	0.5	100.0 (951)	46.4	5.6	9.9	34.4	3.8	100.0 (951)	68.0	6.7	7.7	16.8	0.7		
	2級	100.0 (500)	77.2	11.0	7.6	4.2	-	100.0 (500)	42.4	10.8	12.6	31.8	2.4	100.0 (500)	73.8	13.6	5.0	7.2	0.4		
	3級	100.0 (465)	88.0	5.8	3.2	1.9	1.1	100.0 (465)	58.3	12.0	9.7	16.6	3.4	100.0 (465)	86.2	7.7	2.6	2.8	0.6		
	4級	100.0 (531)	93.6	4.0	0.9	0.8	0.8	100.0 (531)	73.4	5.6	6.8	10.0	4.1	100.0 (531)	92.5	4.1	1.1	1.3	0.9		
	5級	100.0 (119)	95.0	4.2	0.8	-	-	100.0 (119)	68.9	11.8	9.2	8.4	1.7	100.0 (119)	90.8	6.7	1.7	0.8	-		
	6級	100.0 (182)	96.7	1.1	1.1	1.1	-	100.0 (182)	73.6	8.8	6.6	8.2	2.7	100.0 (182)	93.4	1.6	2.7	2.2	-		

(3) 日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)  
 - 障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う) を、障害名別にみると、「a 食事をとる」「b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする」「c トイレを使う」について「全部手助けが必要」の割合は、肢体不自由 (体幹) と肢体不自由 (乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害) が他の障害よりも高い。

現在一緒に生活している人別にみると「全部手助けが必要」の割合は、親と一緒に暮らしている人及び兄弟姉妹と一緒に生活している人が比較的高くなっている。(表Ⅱ-4-2)

表Ⅱ-4-2 日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う) - 障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	a 食事をとる						b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする						c トイレを使う						
	総数	ひとりで全部できる	ムヒとリではできないがス	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムヒとリではできないがス	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムヒとリではできないがス	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答	
総数	100.0 (2,762)	82.7	6.7	4.5	5.5	0.5	100.0 (2,762)	55.6	8.1	9.5	23.2	3.5	100.0 (2,762)	79.5	7.3	4.5	8.0	0.7	
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害 (390)	100.0	80.8	7.9	6.7	4.1	0.5	100.0	49.5	12.6	12.8	21.8	3.3	100.0	85.9	7.9	1.8	3.8	0.5
	聴覚障害 (405)	100.0	95.8	2.0	1.2	0.7	0.2	100.0	78.3	6.7	5.2	7.9	2.0	100.0	94.1	2.5	1.0	2.0	0.5
	平衡機能障害 (15)	100.0	53.3	6.7	20.0	20.0	-	100.0	46.7	6.7	13.3	20.0	13.3	100.0	66.7	6.7	6.7	20.0	-
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 (261)	100.0	82.8	7.3	3.4	5.4	1.1	100.0	63.6	5.4	6.9	18.8	5.4	100.0	87.4	3.4	3.4	5.0	0.8
	肢体不自由(上肢) (370)	100.0	65.4	15.7	9.5	8.6	0.8	100.0	26.2	10.0	13.0	47.8	3.0	100.0	56.2	17.0	12.7	13.8	0.3
	肢体不自由(下肢) (518)	100.0	76.6	12.2	4.8	5.8	0.6	100.0	40.7	10.6	11.4	34.2	3.1	100.0	65.6	16.4	7.5	9.3	1.2
	肢体不自由(体幹) (253)	100.0	55.7	12.3	11.5	20.2	0.4	100.0	14.6	8.7	14.2	57.3	5.1	100.0	42.7	16.2	11.5	29.2	0.4
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害) (237)	100.0	48.1	12.7	13.1	25.7	0.4	100.0	18.1	10.1	11.0	57.0	3.8	100.0	43.0	11.0	13.9	31.6	0.4
	内部障害 (765)	100.0	93.9	3.1	1.6	0.9	0.5	100.0	74.2	5.0	7.2	10.5	3.1	100.0	91.8	3.3	2.5	1.8	0.7
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	親 (368)	100.0	71.7	6.8	7.6	13.3	0.5	100.0	44.6	8.2	10.6	34.5	2.2	100.0	68.5	7.3	7.1	16.8	0.3
	配偶者 (1,404)	100.0	87.1	6.1	4.0	2.5	0.3	100.0	58.7	8.1	8.8	20.0	4.3	100.0	84.5	6.6	4.1	4.5	0.4
	子ども (791)	100.0	89.8	4.7	3.4	1.9	0.3	100.0	60.1	8.7	9.2	18.7	3.3	100.0	85.0	6.1	4.0	4.3	0.6
	兄弟姉妹 (160)	100.0	73.8	5.0	8.1	12.5	0.6	100.0	44.4	5.6	12.5	33.1	4.4	100.0	69.4	6.3	6.9	16.9	0.6
	その他の親族 (147)	100.0	84.4	3.4	6.1	6.1	-	100.0	51.7	10.9	6.8	27.9	2.7	100.0	76.9	8.2	6.8	8.2	-
	一人で暮らしている (566)	100.0	87.8	8.1	2.1	1.4	0.5	100.0	68.6	9.2	9.7	12.2	0.4	100.0	87.1	8.5	1.9	2.1	0.4

(4) 日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする)

－障害を持った時期、身体障害者手帳の等級(総合等級)別

日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする) の「e 入浴をする」について「全部手助けが必要」の割合を障害を持った時期別でみると出生前または出生時が 27.2%と高く、身体障害者手帳の等級(総合等級)別にみると「1級」が 25.8%と高くなっている。(表Ⅱ-4-3)

表Ⅱ-4-3 日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする)

－障害を持った時期、身体障害者手帳の等級(総合等級)別

	d 着替えをする						e 入浴をする						f 寝返りをする										
	総数	ひとり きと り で 全 部 で	が ス ム イ ズ に は る	が ス ム イ ズ に は る	一 部 手 助 け が あ る	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総数	ひとり き と り で 全 部 で	が ス ム イ ズ に は る	が ス ム イ ズ に は る	一 部 手 助 け が あ る	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答	総数	ひとり き と り で 全 部 で	が ス ム イ ズ に は る	が ス ム イ ズ に は る	一 部 手 助 け が あ る	全 部 手 助 け が 必 要	無 回 答		
総数	100.0 (2,762)	75.1	8.5	8.9	8.9	0.8	100.0 (2,762)	70.3	6.4	8.0	14.8	0.8	100.0 (2,762)	82.7	6.8	2.9	6.6	1.0					
障害を持った時期別	出生前または出生時	100.0 (372)	60.8	9.9	7.8	21.5	-	100.0 (372)	57.5	7.0	8.1	27.2	0.3	100.0 (372)	74.7	8.9	1.6	14.8	-				
	0～3歳	100.0 (108)	68.9	9.4	4.7	17.0	-	100.0 (108)	65.1	6.6	11.3	17.0	-	100.0 (108)	79.2	3.8	6.6	8.5	1.9				
	4～12歳	100.0 (90)	86.7	3.3	2.2	6.7	1.1	100.0 (90)	84.4	3.3	2.2	8.9	1.1	100.0 (90)	90.0	2.2	1.1	5.6	1.1				
	13～17歳	100.0 (30)	83.3	6.7	6.7	3.3	-	100.0 (30)	83.3	10.0	3.3	3.3	-	100.0 (30)	86.7	3.3	-	3.3	6.7				
	18歳～29歳	100.0 (135)	88.1	5.2	3.0	2.2	1.5	100.0 (135)	84.4	3.7	5.2	5.2	1.5	100.0 (135)	91.9	3.7	-	3.0	1.5				
	30歳～39歳	100.0 (145)	77.9	10.3	7.6	2.8	1.4	100.0 (145)	73.8	10.3	10.3	5.5	-	100.0 (145)	83.4	10.3	4.8	1.4	-				
	40歳～49歳	100.0 (248)	76.2	13.3	4.8	5.2	0.4	100.0 (248)	76.2	8.1	5.2	10.1	0.4	100.0 (248)	84.7	7.7	1.2	5.8	0.8				
	50歳～59歳	100.0 (520)	79.6	6.9	7.9	4.8	0.8	100.0 (520)	74.0	4.6	7.7	12.9	0.8	100.0 (520)	85.0	6.2	4.0	3.7	1.2				
	60歳～69歳	100.0 (578)	75.4	9.2	8.1	6.9	0.3	100.0 (578)	68.7	7.8	10.4	12.8	0.3	100.0 (578)	81.8	7.6	3.8	5.5	1.2				
	70歳以上	100.0 (428)	76.0	6.5	7.6	9.5	0.5	100.0 (428)	67.9	5.5	8.1	16.6	1.8	100.0 (428)	83.8	5.8	2.3	7.4	0.7				
(再掲)65歳以上	100.0 (729)	75.3	7.1	8.2	9.0	0.4	100.0 (729)	68.3	5.8	9.4	15.5	1.2	100.0 (729)	83.4	6.3	2.9	6.8	0.7					
身体障害者手帳の等級(総合等級)別	1級	100.0 (951)	65.0	6.9	8.8	18.5	0.7	100.0 (951)	60.1	4.5	8.8	25.8	0.7	100.0 (951)	74.4	6.7	5.0	12.8	0.9				
	2級	100.0 (500)	64.4	16.4	9.8	9.0	0.4	100.0 (500)	61.0	9.6	11.4	17.6	0.4	100.0 (500)	76.8	11.0	3.8	7.6	0.8				
	3級	100.0 (465)	80.9	9.2	5.8	3.4	0.6	100.0 (465)	74.4	8.2	8.6	7.7	1.1	100.0 (465)	88.2	6.5	1.5	3.0	0.9				
	4級	100.0 (531)	89.8	4.9	3.6	1.1	0.6	100.0 (531)	85.1	5.6	4.3	4.0	0.9	100.0 (531)	92.8	4.5	0.4	0.9	1.3				
	5級	100.0 (119)	84.0	10.1	5.0	0.8	-	100.0 (119)	82.4	7.6	6.7	3.4	-	100.0 (119)	89.9	6.7	0.8	1.7	0.8				
	6級	100.0 (182)	92.3	3.3	2.7	1.6	-	100.0 (182)	87.9	4.9	3.3	3.3	0.5	100.0 (182)	95.1	3.8	-	0.5	0.5				

(5) 日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする)

－障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする) の「e 入浴をする」について「全部手助けが必要」の割合を身体障害者手帳の障害名別にみると肢体不自由(体幹)の割合が高く(46.2%)、また「f 寝返りをする」についても「全部手助けが必要」の割合は肢体不自由(体幹)が高くなっている。(24.1%)

表Ⅱ-4-4 日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする)

－障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	d着替えをする						e入浴をする						f寝返りをする										
	総数	ひとりで全部できる	ムひとりにはできないがス	ムひとりではできないがス	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムひとりにはできないがス	ムひとりではできないがス	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムひとりにはできないがス	ムひとりではできないがス	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答		
総数	100.0 (2,762)	75.1	8.5	6.9	8.9	0.8	100.0 (2,762)	70.3	6.4	8.0	14.6	0.8	100.0 (2,762)	82.7	6.8	2.9	6.6	1.0					
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	100.0 (390)	81.8	9.5	3.1	4.6	1.0	100.0 (390)	78.7	7.2	6.2	7.2	0.8	100.0 (390)	88.7	6.2	1.3	2.6	1.3				
	聴覚障害	100.0 (405)	93.6	2.7	1.7	1.7	0.2	100.0 (405)	89.1	3.5	3.0	3.7	0.7	100.0 (405)	96.0	2.7	-	1.0	0.2				
	平衡機能障害	100.0 (15)	66.7	6.7	-	26.7	-	100.0 (15)	60.0	13.3	-	26.7	-	100.0 (15)	73.3	6.7	-	20.0	-				
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	82.4	5.7	4.6	6.5	0.8	100.0 (261)	76.6	6.1	7.7	8.8	0.8	100.0 (261)	88.5	4.2	0.8	5.7	0.8				
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	43.8	17.0	20.5	18.1	0.5	100.0 (370)	37.6	10.8	17.0	34.3	0.3	100.0 (370)	58.1	17.3	8.4	15.4	0.8				
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	59.7	16.2	12.2	10.8	1.2	100.0 (518)	51.0	11.0	13.9	22.8	1.4	100.0 (518)	69.7	11.8	6.4	11.0	1.2				
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	33.6	13.8	20.6	32.0	-	100.0 (253)	26.5	8.7	18.2	46.2	0.4	100.0 (253)	49.8	15.4	8.7	24.1	2.0				
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	36.7	15.2	13.9	34.2	-	100.0 (237)	33.8	8.0	15.6	42.2	0.4	100.0 (237)	60.3	12.7	5.1	21.5	0.4				
	内部障害	100.0 (765)	90.3	3.7	3.1	2.4	0.5	100.0 (765)	86.1	3.4	4.6	5.2	0.7	100.0 (765)	92.8	3.1	1.7	1.4	0.9				
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	親	100.0 (368)	64.4	9.8	8.2	17.4	0.3	100.0 (368)	61.4	7.9	9.5	20.7	0.5	100.0 (368)	79.9	7.1	2.2	10.3	0.5				
	配偶者	100.0 (1,404)	78.7	7.9	7.3	5.7	0.4	100.0 (1,404)	75.3	5.8	8.3	10.4	0.4	100.0 (1,404)	85.8	6.3	3.0	4.3	0.7				
	子ども	100.0 (791)	81.2	5.8	7.6	4.8	0.6	100.0 (791)	76.9	5.1	8.0	9.4	0.8	100.0 (791)	87.6	5.4	2.5	3.8	0.6				
	兄弟姉妹	100.0 (160)	66.9	6.9	8.1	17.5	0.6	100.0 (160)	61.9	6.9	5.6	24.4	1.3	100.0 (160)	80.6	6.3	2.5	10.0	0.6				
	その他の親族	100.0 (147)	71.4	8.2	10.2	9.5	0.7	100.0 (147)	64.6	6.8	13.6	15.0	-	100.0 (147)	85.0	5.4	4.8	4.8	-				
一人で暮らしている	100.0 (566)	82.7	10.6	3.0	3.2	0.5	100.0 (566)	75.6	9.4	5.3	9.0	0.7	100.0 (566)	86.2	8.1	1.4	2.8	1.4					

(6) 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物)

－障害を持った時期、身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別

日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物) を障害を持った時期別にみると、「i 日常の買い物」について「全部手助けが必要」の割合は、出生前または出生時が最も高く 34.7%であった。

身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別にみると「i 日常の買い物」について「全部手助けが必要」の割合は、1級 (35.0%)、2級 (35.6%) で約 3 人に 1 人となっている。(表 II-4-5)

表 II-4-5 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物)

－障害を持った時期、身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別

	g 家の中を移動する						h 外出する						i 日常の買い物								
	総数	きひとり で全部で	できな い	ひとり で全部 で	一部 手助け が必要	全部 手助け が必要	無 回答	総数	きひとり で全部で	できな い	ひとり で全部 で	一部 手助け が必要	全部 手助け が必要	無 回答	総数	きひとり で全部で	できな い	ひとり で全部 で	一部 手助け が必要	全部 手助け が必要	無 回答
総数	100.0 (2,782)	77.7	10.5	3.8	7.3	0.7	100.0 (2,782)	59.1	8.7	12.0	19.3	0.9	100.0 (2,782)	55.1	7.7	10.5	24.7	2.0			
障害を持った時期別	出生前または出生時 (372)	100.0	67.2	11.6	5.4	15.6	0.3	100.0	46.0	8.1	15.3	30.4	0.3	100.0	43.8	6.7	14.0	34.7	0.8		
	0～3歳 (106)	100.0	76.4	7.5	5.7	10.4	-	100.0	60.4	6.6	13.2	19.8	-	100.0	58.5	4.7	13.2	21.7	1.9		
	4～12歳 (90)	100.0	88.9	4.4	-	5.6	1.1	100.0	72.2	5.6	6.7	14.4	1.1	100.0	66.7	7.8	7.8	14.4	3.3		
	13～17歳 (30)	100.0	80.0	13.3	3.3	3.3	-	100.0	60.0	23.3	6.7	10.0	-	100.0	60.0	13.3	10.0	16.7	-		
	18歳～29歳 (135)	100.0	88.1	4.4	0.7	4.4	2.2	100.0	74.1	3.0	10.4	11.1	1.5	100.0	66.7	7.4	7.4	17.0	1.5		
	30歳～39歳 (145)	100.0	82.8	11.7	4.1	1.4	-	100.0	57.9	13.8	16.6	11.7	-	100.0	55.2	12.4	14.5	17.9	-		
	40歳～49歳 (248)	100.0	79.0	13.3	0.8	5.6	1.2	100.0	64.1	10.5	9.7	14.9	0.8	100.0	59.3	8.1	11.7	20.2	0.8		
	50歳～59歳 (520)	100.0	81.3	9.8	3.7	4.6	0.6	100.0	63.3	8.5	11.3	15.8	1.2	100.0	61.9	6.5	8.1	21.0	2.5		
	60歳～69歳 (578)	100.0	78.0	11.6	4.2	5.7	0.5	100.0	60.4	7.4	11.6	19.9	0.7	100.0	54.8	6.7	10.2	26.1	2.1		
	70歳以上 (428)	100.0	75.5	11.0	4.9	7.7	0.9	100.0	55.6	10.5	11.7	20.6	1.6	100.0	49.3	10.0	9.1	28.0	3.5		
(再掲)65歳以上 (729)	100.0	76.4	10.3	5.2	7.4	0.7	100.0	57.2	9.6	10.7	21.3	1.2	100.0	51.4	8.5	9.3	28.1	2.6			
身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別	1級 (951)	100.0	68.2	9.4	5.9	15.5	1.1	100.0	48.7	6.8	12.7	30.6	1.2	100.0	44.6	6.1	11.3	35.0	3.0		
	2級 (500)	100.0	71.0	16.0	5.6	7.0	0.4	100.0	43.6	11.2	17.8	26.6	0.8	100.0	38.8	10.8	13.0	35.6	1.8		
	3級 (465)	100.0	82.6	12.5	1.3	3.0	0.6	100.0	68.0	8.8	11.8	10.8	0.6	100.0	62.2	8.4	9.9	18.3	1.3		
	4級 (531)	100.0	91.0	6.4	0.9	0.9	0.8	100.0	76.3	8.5	7.3	7.2	0.8	100.0	72.9	6.6	9.0	10.0	1.5		
	5級 (119)	100.0	82.4	16.0	1.7	-	-	100.0	66.4	16.0	10.9	5.9	0.8	100.0	63.9	15.1	6.7	13.4	0.8		
	6級 (182)	100.0	91.2	4.4	3.8	0.5	-	100.0	80.2	7.7	6.0	5.5	0.5	100.0	79.7	5.5	7.1	7.7	-		

(7) 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物)

－障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物) を障害名別にみると、肢体不自由 (体幹) では「h 外出をする」(55.3%)、「i 日常の買い物」(65.6%) の割合が高くなっている。(表 II-4-6)

表 II-4-6 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物) －  
－障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	g 家の中を移動する							h 外出をする						i 日常の買い物							
	総数	ひとり で全部で	が ひとり で全部で できない	ひとり で全部で できない が 一部 でできる	一部 でできる が 全部 手助け が必要	全部 手助け が必要	無 回答	総数	ひとり で全部で	が ひとり で全部で できない	ひとり で全部で できない が 一部 でできる	一部 でできる が 全部 手助け が必要	全部 手助け が必要	無 回答	総数	ひとり で全部で	が ひとり で全部で できない	ひとり で全部で できない が 一部 でできる	一部 でできる が 全部 手助け が必要	全部 手助け が必要	無 回答
総数	100.0 (2,762)	77.7	10.5	3.8	7.3	0.7	100.0 (2,762)	59.1	8.7	12.0	19.3	0.9	100.0 (2,762)	55.1	7.7	10.5	24.7	2.0			
身体障害者 手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	100.0 (390)	81.5	11.3	2.6	3.8	0.8	100.0 (390)	44.1	10.5	23.3	20.5	1.5	100.0 (390)	41.5	10.5	16.9	29.2	1.8		
	聴覚障害	100.0 (405)	93.1	3.7	1.2	1.7	0.2	100.0 (405)	80.0	6.9	6.4	6.4	0.2	100.0 (405)	76.8	7.9	6.9	7.9	0.5		
	平衡機能障害	100.0 (15)	60.0	13.3	6.7	20.0	-	100.0 (15)	53.3	6.7	13.3	26.7	-	100.0 (15)	40.0	6.7	20.0	26.7	6.7		
	音声機能・言語機能・ そしゃく機能の障害	100.0 (261)	86.6	5.4	1.1	6.1	0.8	100.0 (261)	72.0	6.9	8.8	11.5	0.8	100.0 (261)	65.9	6.9	8.8	15.7	2.7		
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	55.1	20.8	8.4	14.9	0.8	100.0 (370)	38.1	8.9	13.2	39.5	0.3	100.0 (370)	33.0	7.0	11.9	48.2	1.9		
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	61.2	21.0	6.0	10.2	1.5	100.0 (518)	44.8	11.6	13.9	28.8	1.0	100.0 (518)	41.9	8.3	12.2	35.3	2.3		
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	39.1	22.9	10.7	26.1	1.2	100.0 (253)	19.8	7.9	15.4	55.3	1.6	100.0 (253)	13.8	7.1	9.9	65.6	3.6		
	肢体不自由(乳幼児期以 前の非進行性の脳病変によ る脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	49.8	15.6	9.7	24.5	0.4	100.0 (237)	28.3	8.0	19.8	43.9	-	100.0 (237)	25.3	7.2	18.6	47.3	1.7		
	内部障害	100.0 (765)	90.5	4.8	2.0	2.1	0.7	100.0 (765)	76.5	6.8	8.2	7.5	1.0	100.0 (765)	72.7	5.9	7.3	12.0	2.1		
現在一緒に生活している人 〔複数回答〕別	親	100.0 (368)	72.0	10.3	4.9	12.2	0.5	100.0 (368)	52.4	8.7	12.8	25.5	0.5	100.0 (368)	49.7	7.3	12.5	28.1	1.4		
	配偶者	100.0 (1,404)	81.5	9.8	3.6	4.7	0.5	100.0 (1,404)	62.6	8.7	13.0	15.0	0.8	100.0 (1,404)	58.3	7.3	10.4	21.9	2.1		
	子ども	100.0 (791)	81.4	10.1	4.0	3.9	0.5	100.0 (791)	62.8	7.7	13.5	15.0	0.9	100.0 (791)	59.3	6.8	11.4	20.9	1.6		
	兄弟姉妹	100.0 (160)	74.4	8.8	5.0	10.6	1.3	100.0 (160)	51.9	10.0	10.0	27.5	0.6	100.0 (160)	46.3	8.1	10.6	33.1	1.9		
	その他の親族	100.0 (147)	72.8	12.9	7.5	6.8	-	100.0 (147)	58.5	7.5	11.6	23.8	0.7	100.0 (147)	54.4	5.4	10.9	29.3	-		
	一人で暮らしている人	100.0 (566)	83.2	12.5	1.6	2.1	0.5	100.0 (566)	68.2	10.4	9.5	11.5	0.4	100.0 (566)	64.5	9.9	9.5	15.2	0.9		

6 社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

－障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

「電車やバスなどを使つての移動が不便」「道路や駅などの利用が不便」の割合は前回調査よりも減少

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「電車やバスなどを使つての移動が不便」(21.5%)、「道路や駅などの利用が不便」(20.5%)の割合が高くなっている。

平日の日中主に過ごしたところ別にみると、通所施設(作業所、デイケア等を含む)で過ごしている人は「利用する建物の設備が整備されていない」の割合が21.8%で総数(7.8%)よりも高いのが目立つ。

前回調査(15年度調査)と比べると「道路や駅などの利用が不便」の割合は5.7ポイント減少、「電車やバスなどを使つての移動が不便」も2.6ポイント減少した。(表Ⅱ-7-4)

問 あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。

表Ⅱ-7-4 社会参加する上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

－障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	用道 路が 不便	使つ ての 移動 が不 便	備 が 整 備 さ れ て い ない	不 便 な 建 物 の 設 備	損 等 に よ り 利 用 が 不 便	介 助 者 が い ない	情 報 が い ない	結 合 な い た め に 参 加 し て い ない	方 法 の 整 備 が さ れ て い ない	FAX 番 号 や メ ー ル ア ド レ ス な ど の 連 絡 先 が あ ら ず	周 り の 人 の 理 解 不 足	等 の 利 用 を 拒 否 さ れ る	不 便 な 指 導 者 が い ない	一 緒 に 行 く 仲 間 が い ない	配 慮 が さ れ て い ない	障 害 者 の 参 加 を 想 定 し て い ない	所 他	特 に い ない	無 回 答
総数	100.0 (2,782)	20.5	21.5	7.8	0.3	7.9	5.0			1.8	10.9	0.9	1.6	6.3	2.6	12.7	41.8	5.0		
身体障害者 手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	100.0 (390)	29.7	30.0	6.9	1.5	10.8	5.1		2.3	13.3	2.1	3.3	6.7	4.1	13.8	31.0	4.9		
	聴覚障害	100.0 (405)	10.1	11.6	3.5	-	4.7	9.4		4.9	17.3	0.7	1.2	8.6	10.4	11.9	45.4	4.0		
	平衡機能障害	100.0 (15)	20.0	26.7	-	-	13.3	-		6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	33.3	6.7		
	音声機能・言語機能・ そしゃく機能の障害	100.0 (261)	11.1	14.6	4.6	-	7.7	5.7		4.2	14.6	1.9	2.3	8.8	5.0	14.6	39.5	5.7		
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	27.8	29.7	12.2	0.3	14.1	4.6		0.5	7.6	0.8	0.8	7.6	1.1	14.9	33.5	5.9		
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	32.8	32.2	12.4	-	9.1	5.0		0.8	8.5	0.4	1.5	5.8	1.0	12.9	33.6	3.9		
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	31.2	30.8	11.1	-	12.6	2.0		0.4	7.9	0.8	0.8	3.6	0.4	18.6	28.9	7.1		
	肢体不自由(乳幼児期以 前の発達性脳病変による 脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	29.5	30.8	19.8	-	18.6	4.2		1.3	18.1	2.1	3.0	9.3	0.8	9.7	27.0	3.8		
	内部障害	100.0 (765)	12.4	12.7	3.5	-	3.3	3.8		0.8	7.1	0.4	1.2	4.7	0.4	12.7	55.8	5.5		
過ごしたところ別	自分の家	100.0 (2,004)	21.8	23.2	7.1	0.3	8.1	5.1		1.7	10.5	0.7	1.5	6.8	2.4	12.4	41.4	4.5		
	職場	100.0 (400)	15.3	15.5	6.3	0.3	2.0	6.0		3.0	16.3	1.3	0.8	3.5	4.3	9.5	51.5	4.5		
	学校	100.0 (8)	12.5	-	12.5	-	25.0	12.5		-	-	-	12.5	12.5	-	-	62.5	-		
	通所施設(作業所、デ イケア等を含む)	100.0 (170)	27.6	27.1	21.8	-	18.2	2.9		1.8	9.4	1.2	2.4	7.6	1.8	11.2	28.2	5.3		
	入所施設	100.0 (86)	12.8	15.1	3.5	-	14.0	2.3		-	5.8	2.3	1.2	1.2	2.3	30.2	36.0	7.0		
	その他	100.0 (74)	12.2	6.8	9.5	-	2.7	1.4		1.4	5.4	2.7	4.1	2.7	1.4	23.0	43.2	6.8		
15年度調査	100.0 (2,757)	26.2	24.1	8.6	...	8.4	6.9		2.2	14.8	1.0	3.7	7.7	4.6	6.2	44.4	1.8			



7 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

－障害名〔複数回答〕、障害を持った時期別

障害のためにあきらめたり妥協したことは「旅行や遠距離の外出」の割合が最も高い

障害のためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことは「旅行や遠距離の外出」の割合が41.5%と最も高い。障害名別にみると「旅行や遠距離の外出」の割合は、肢体不自由（下肢）と肢体不自由（体幹）で5割を超えている。前回調査（15年度調査）と比べると「進学」「就職」「異性との付き合い」「結婚」「人付き合い」の割合が減少している。（表II-7-5）

問 あなたは障害を持っているためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。

表II-7-5 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

－障害名〔複数回答〕、障害を持った時期別

	総数	進学	就職	異性との付き合い	結婚	出産・育児	人付き合い	近距離の外出	旅行や遠距離の外出	どのおしやれな	活動スポーツ・文化	その他	特にな	無回答	
総数	100.0 (2,782)	4.8	13.5	5.5	6.7	3.7	15.3	19.7	41.5	7.4	24.0	4.0	34.6	3.0	
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	100.0 (390)	5.1	16.4	4.1	5.1	2.1	14.1	26.9	40.5	8.2	25.4	7.2	30.5	5.4
	聴覚障害	100.0 (405)	4.9	8.9	4.9	6.4	2.7	22.2	11.9	24.2	2.7	14.8	4.7	45.9	1.7
	平衡機能障害	100.0 (15)	6.7	26.7	13.3	13.3	6.7	33.3	33.3	33.3	6.7	26.7	-	40.0	-
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	2.3	16.9	3.1	4.6	1.9	25.7	16.5	35.2	3.1	20.3	4.6	35.6	3.1
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	3.8	13.2	4.9	7.0	4.6	15.7	28.4	48.9	13.2	28.4	3.8	30.3	3.5
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	4.6	12.0	4.2	6.0	3.9	13.1	28.8	53.5	11.0	29.9	4.1	28.2	2.7
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	5.1	15.0	7.9	7.5	6.3	17.8	34.8	53.8	15.8	28.9	5.5	26.9	4.3
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	20.3	29.5	24.9	25.7	16.0	23.2	19.4	35.9	15.6	25.7	3.4	27.0	5.5
	内部障害	100.0 (765)	1.8	10.8	2.6	4.3	2.4	9.4	15.6	47.3	4.3	24.1	2.2	38.9	1.7
障害を持った時期別	出生前または出生時	100.0 (372)	17.2	26.3	19.4	21.8	14.0	21.0	16.7	33.1	12.6	25.0	3.8	32.0	5.6
	0～3歳	100.0 (108)	23.6	23.5	16.0	18.9	8.5	18.9	11.3	32.1	8.5	24.5	5.7	31.1	2.8
	4～12歳	100.0 (90)	13.3	23.3	12.2	11.1	7.8	17.8	11.1	25.6	8.9	24.4	7.8	36.7	2.2
	13～17歳	100.0 (30)	30.0	20.0	3.3	10.0	6.7	13.3	13.3	33.3	20.0	26.7	3.3	26.7	6.7
	18歳～29歳	100.0 (135)	5.2	20.0	6.7	15.6	6.7	14.1	11.1	31.1	8.1	22.2	4.4	35.6	0.7
	30歳～39歳	100.0 (145)	2.1	22.1	9.7	11.0	6.2	22.8	22.8	46.9	13.8	36.6	6.9	24.8	2.1
	40歳～49歳	100.0 (248)	0.8	16.1	2.8	4.4	2.0	13.7	18.5	37.9	7.7	32.3	5.6	33.5	3.6
	50歳～59歳	100.0 (520)	0.4	11.9	1.5	1.9	0.6	14.4	19.8	46.0	6.3	25.8	2.1	34.6	1.7
	60歳～69歳	100.0 (578)	-	6.7	0.7	0.9	0.7	13.0	24.4	50.5	6.9	24.2	3.1	34.4	2.4
	70歳以上	100.0 (428)	0.5	1.4	0.5	0.5	0.5	13.1	22.0	44.9	2.1	14.7	4.2	40.7	2.6
(再掲)65歳以上	100.0 (729)	0.3	2.2	0.4	0.4	0.4	12.8	22.3	47.5	3.8	17.0	4.0	38.1	2.6	
15年度調査	100.0 (2,757)	5.5	16.1	6.1	7.3	3.5	17.5	19.3	40.2	7.4	22.6	1.7	38.8	1.4	

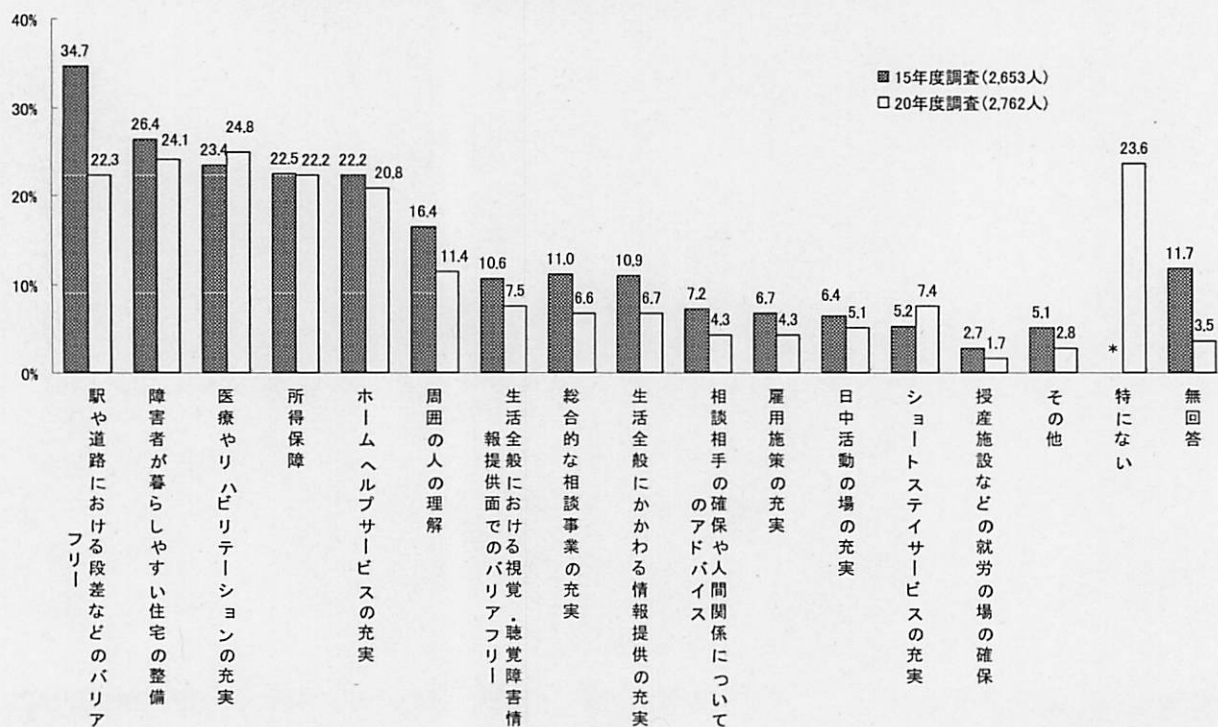
## 8 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

前回調査よりも「駅や道路におけるバリアフリー」の割合が12.4ポイント減少

地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何か聞いたところ「医療やリハビリテーションの充実」の割合が24.8%と最も高く、次いで「障害者が暮らしやすい住宅の整備」24.1%であり、前回調査（15年度調査）で最も割合の高かった「駅や道路におけるバリアフリー（34.7%）」は12.4ポイント下がって22.3%となった。（図II-11-1）

問 あなたが、地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。

図II-11-1 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕



（注）\*は前回調査時選択肢がなかったもの

地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

－身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

地域生活をする上で必要な福祉サービス等を障害名別にみると、「障害者が暮らしやすい住宅の整備」の割合は肢体不自由（乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害）で38.8%と高い。平日の日中主に過ごしたところ別にみると、通所施設（作業所、デイケア等を含む）で過ごした人では、「授産施設などの就労の場の確保」（10.0%）、「日中活動の場の充実」（15.3%）、「ショートステイサービスの充実」（25.9%）の割合が、それぞれ総数よりも高いのが目立つ。（表Ⅱ-11-4）

表Ⅱ-11-4 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

－身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	障害者が暮らしやすい住宅の整備	授産施設などの就労の場の確保	ホームヘルプサービスの充実	日中活動の場の充実	ショートステイサービスの充実	医療やリハビリの充実	総合的な相談事業の充実	雇用施策の充実	
総数	100.0 (2,762)	24.1	1.7	20.8	5.1	7.4	24.8	6.6	4.3	
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	100.0 (390)	23.3	1.3	21.5	4.9	5.1	16.7	7.7	4.4
	聴覚障害	100.0 (405)	20.5	1.5	12.6	5.2	4.7	13.1	5.4	4.4
	平衡機能障害	100.0 (15)	6.7	-	40.0	6.7	20.0	20.0	13.3	6.7
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	100.0 (261)	20.7	2.7	13.0	5.7	7.7	34.9	8.4	4.6
	肢体不自由(上肢)	100.0 (370)	27.0	3.0	29.5	3.8	10.8	37.8	5.1	3.2
	肢体不自由(下肢)	100.0 (518)	28.2	1.5	26.1	3.5	9.1	32.8	4.8	2.7
	肢体不自由(体幹)	100.0 (253)	26.1	1.2	34.0	6.3	14.2	37.2	4.7	1.2
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	100.0 (237)	38.8	8.0	26.2	11.8	15.2	22.8	6.8	8.9
	内部障害	100.0 (765)	22.0	0.9	20.0	3.7	6.5	24.4	8.0	4.2
平日の日中主に過ごしたところ別	自分の家	100.0 (2,004)	23.4	0.9	23.1	4.4	7.2	25.6	6.9	3.1
	職場	100.0 (400)	26.0	2.5	10.3	4.8	2.0	20.8	6.5	10.5
	学校	100.0 (8)	25.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-
	通所施設(作業所、デイケア等を含む)	100.0 (170)	35.9	10.0	27.1	15.3	25.9	26.5	4.7	2.9
	入所施設	100.0 (86)	14.0	2.3	11.6	7.0	3.5	22.1	2.3	1.2

(次ページへ続く)

また、「駅や道路における段差などのバリアフリー」の割合は、障害名別でみると肢体不自由（下肢）が35.3%と高く、「生活全般における視覚・聴覚障害情報提供面でのバリアフリー」の割合は、聴覚障害で27.4%と高くなっている。

表 II-11-4 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕  
 ー身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別（続）

		段差など のバリア フリー	駅や道路 における バリア フリー	視覚・聴 覚におけ る障害情 報提供面 でのバ リアフ リー	生活全般 における 障害情 報提供 面での バリア フリー	生活全般 における 障害情 報提供 面での バリア フリー	生活全般 における 障害情 報提供 面での バリア フリー	所得保 障	の人間 関係に ついて は	相談相 手の確 保や	周囲の 人の理 解	その他	特にな い	無回 答
総数		22.3	7.5	6.7	22.2	4.3	11.4	2.8	23.6	3.5				
身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	視覚障害	32.1	19.0	10.3	21.5	3.3	13.1	3.1	16.9	4.6				
	聴覚障害	12.6	27.4	9.9	18.3	5.7	14.3	4.2	26.9	3.5				
	平衡機能障害	33.3	26.7	13.3	20.0	6.7	20.0	6.7	13.3	-				
	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	10.3	5.0	7.3	24.1	7.3	15.3	0.8	26.8	3.8				
	肢体不自由(上肢)	27.0	1.1	4.6	22.7	3.8	10.3	3.8	17.6	1.6				
	肢体不自由(下肢)	35.3	1.4	5.2	20.7	3.9	10.0	3.1	17.6	2.3				
	肢体不自由(体幹)	21.7	2.0	5.1	19.4	2.8	7.5	2.4	20.9	4.3				
	肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による脳原性運動機能障害)	26.2	1.7	4.6	26.2	4.6	15.2	4.2	8.9	5.1				
内部障害	16.6	1.3	6.3	24.7	4.1	8.6	1.6	30.5	3.1					
平日の日中主に過ごしたところ別	自分の家	23.8	7.4	6.4	20.6	4.1	10.0	2.4	24.3	2.9				
	職場	21.5	11.8	12.0	32.5	5.8	17.3	1.8	22.3	3.3				
	学校	12.5	12.5	-	12.5	12.5	50.0	-	25.0	-				
	通所施設(作業所、デイケア等を含む)	21.2	2.9	4.1	25.9	5.3	13.5	5.9	8.2	2.9				
	入所施設	5.8	-	-	14.0	2.3	5.8	5.8	39.5	9.3				

# ○ 知的障害者 805 人（回答者）の状況

※報告書の「第 3 章 知的障害者の状況(95p～148p)」からの主な結果の抜粋

## 1 就労の状況

### (1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－年齢階級、愛の手帳の程度別

「仕事をしている（福祉作業所などを含む）」人の割合は前回調査よりも 3.3 ポイント上昇し、65.1%

調査基準日現在に収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている（福祉作業所などを含む）」割合は 65.1%、「以前は働いていたが現在は働いていない」が 12.7%、「今まで働いたことはない」は 21.9%であった。

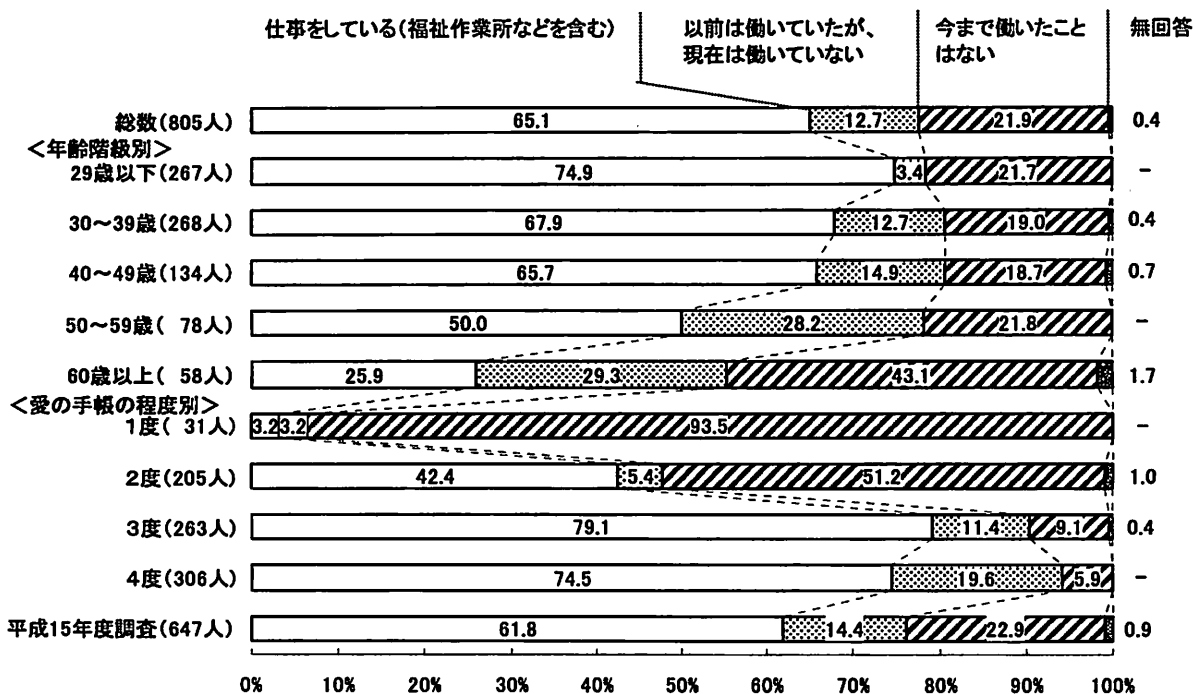
年齢階級別にみると「仕事をしている（福祉作業所などを含む）」割合は、60 歳以上を除く年齢階級で 5 割を超えている。「今まで働いたことはない」の割合は、60 歳以上で最も高く 43.1%であった。

愛の手帳の程度別にみても、3 度及び 4 度では、「仕事をしている（福祉作業所などを含む）」割合が 7 割を超えているが、1 度では、「仕事をしている（福祉作業所などを含む）」割合は 3.2%で、「今まで働いたことはない」割合が、93.5%となっている。

前回調査（15 年度調査）と比べると、「仕事をしている（福祉作業所などを含む）」割合は 3.3 ポイント上昇した。（図Ⅲ-5-1 107p）

問 あなたは平成20年10月15日（調査基準日）現在、収入を伴う仕事をしていますか。

図Ⅲ-5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－年齢階級、愛の手帳の程度別



(注)・その他(病気休職中、産休・育児休業中など)は該当者がいなかったため省略した。

・前回調査(15年度調査)では「その他(病気休職中、産休・育児休業中など)」の選択肢は設けていない。

**(2) 仕事の種類〔複数回答〕－年齢階級、愛の手帳の程度別**

※調査基準日現在「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した人 524 人が対象

前回調査よりも一般就労(正規の職員、アルバイト等)の割合が6.1ポイント上昇

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が15.6%、「パート・アルバイト・日雇等」が27.3%で、これらを合わせた一般就労の割合は42.9%であった。前回調査(15年度調査)の一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」の割合(36.8%))と比べると6.1ポイント上昇した。

一方、「作業所・授産施設等で就労」の割合は56.5%で前回調査(15年度調査)(62.3%)よりも5.8ポイント減少した。

年齢階級別にみると、一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は、20代で46.2%と最も高い。

愛の手帳の程度別にみると、一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は4度で67.1%と最も高く、「作業所・授産施設等で就労」は2度で92.0%、3度で68.3%と高くなっている。(表Ⅲ-5-1 本文108p)

問 仕事の種類は何ですか。

表Ⅲ-5-1 仕事の種類〔複数回答〕－年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	従正規の職員・従業員	約(派遣・パート・アルバイト等を含む)職員	パート・アルバイト・日雇等	自営業	家業の手伝い	内職	施設等授産	その他	無回答
総数		100.0 (524)	15.6	27.3	42.9	-	0.6	-	56.5	0.8	0.2
年齢階級別	19歳以下	100.0 (27)	3.7	37.0	40.7	-	-	-	59.3	-	-
	20～29歳	100.0 (173)	13.3	32.9	46.2	-	-	-	53.8	0.6	-
	30～39歳	100.0 (182)	19.2	23.6	42.8	-	0.5	-	57.1	1.1	-
	40～49歳	100.0 (88)	18.2	20.5	38.7	-	2.3	-	58.0	-	1.1
	50～59歳	100.0 (39)	12.8	28.2	41.0	-	-	-	59.0	-	-
	60歳以上	100.0 (15)	13.3	26.7	40.0	-	-	-	60.0	6.7	-
愛の手帳の程度別	2度	100.0 (87)	-	8.0	8.0	-	-	-	92.0	1.1	-
	3度	100.0 (208)	12.5	18.8	31.3	-	-	-	68.3	0.5	0.5
	4度	100.0 (228)	24.6	42.5	67.1	-	1.3	-	32.0	0.9	-
平成15年度調査		100.0 (400)	21.5	15.3	36.8	0.5	1.8	0.3	62.3	0.3	-

(注)・本文中のパート・アルバイト・日雇等には派遣職員・契約職員を含む。

・表側の愛の手帳の程度が1度は、母集団が1人のため省略した。

・表頭の「会社等の役員」は該当者がいなかったため省略した。

### (3) 1週間の労働時間－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別

※調査基準日現在「仕事をしている(福祉作業所など含む)」と回答した人 524 人が対象

1週間に20時間以上労働している人の割合は82.2%で、作業所・授産施設等では「20～30時間未満」の割合が最も高い。

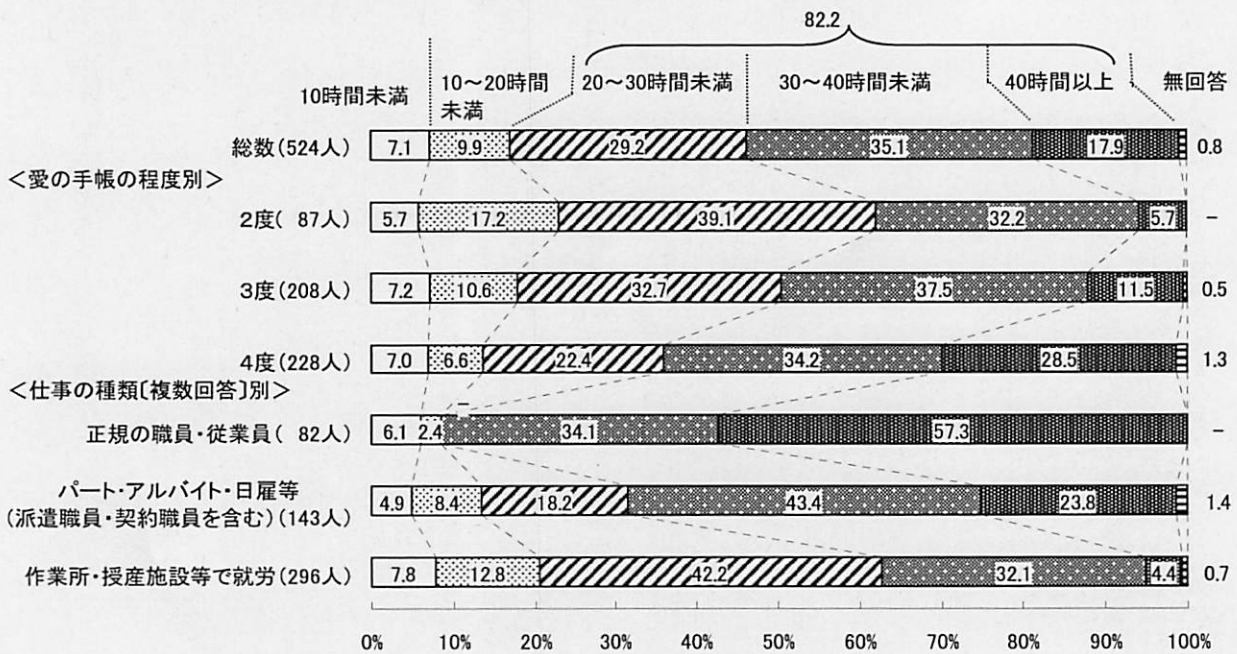
1週間の労働時間をみると「30～40時間未満」の割合が最も高く35.1%、次いで「20～30時間未満」が29.2%であった。20時間以上労働している人の割合は、82.2%と8割を超えている。

愛の手帳の程度別にみると、「30～40時間未満」の割合が高いのは、3度(37.5%)、4度(34.2%)となっている。

仕事の種類別にみると、作業所・授産施設等で就労している人では「20～30時間未満」の割合が42.2%で最も高い。(図Ⅲ-5-3 本文110p)

問 1週間の労働時間はどのくらいですか。

図Ⅲ-5-3 1週間の労働時間－愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別



(注)・愛の手帳の程度が1度については、母集団が1人のため省略した。

・仕事の種類が家業の手伝いは、母集団が3人のため省略した。

(4) 仕事をしていく上で困ること (3つまでの複数回答)

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

※仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む)の仕事をしている224人が対象

仕事をしていく上で困ることは「人間関係(職場内でのいじめなど)」で25.9%

仕事をしていく上で困ることは「人間関係(職場内でのいじめなど)(25.9%)」及び「言いたいことの内容が相手に通じない(22.8%)」が2割を超えている。

年齢階級別にみると、「人間関係(職場内でのいじめなど)」の割合は、29歳以下(35.2%)で高くなっている。(表Ⅲ-5-3 本文113p)

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表Ⅲ-5-3 仕事をしていく上で困ること (3つまでの複数回答)

一年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	困ることがある	困ることは特にない											無回答		
			仕事の内容	人間関係(職場内でのいじめなど)	言いたいことを伝える手段・方法がない	言いたいことの内容が相手に通じない	(不十分な)職場の物理的環境(パリアフリー化)	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	育児・介護との両立	その他			
総数	100.0 (224)	54.5	8.0	25.9	12.9	22.8	0.4	4.5	7.1	4.5	4.5	0.4	5.8	41.5	4.0	
年齢階級別	29歳以下 (91)	100.0	62.6	13.2	35.2	16.5	27.5	0.0	3.3	9.9	4.4	4.4	0.0	5.5	36.3	1.1
	30~39歳 (77)	100.0	51.9	3.9	18.2	10.4	24.7	1.3	6.5	2.6	5.2	6.5	1.3	6.5	39.0	9.1
	40~49歳 (34)	100.0	47.1	5.9	26.5	14.7	11.8	-	2.9	8.8	2.9	2.9	-	2.9	50.0	2.9
	50歳以上 (22)	100.0	40.9	4.5	13.6	4.5	13.6	-	4.5	9.1	4.5	-	-	9.1	59.1	-
愛の手帳の程度別	2度 (7)	100.0	42.9	28.6	-	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-	14.3	42.9	14.3
	3度 (65)	100.0	50.8	3.1	26.2	15.4	27.7	-	3.1	6.2	1.5	3.1	-	1.5	46.2	3.1
	4度 (152)	100.0	56.6	9.2	27.0	11.2	20.4	0.7	5.3	7.9	5.9	5.3	0.7	7.2	39.5	3.9
回答者別	本人が回答 (138)	100.0	52.2	7.2	25.4	11.6	20.3	0.0	5.8	8.7	6.5	3.6	-	8.0	45.7	2.2
	本人以外が回答 (64)	100.0	60.9	6.3	29.7	18.8	26.6	1.6	3.1	4.7	-	4.7	-	3.1	31.3	7.8

(注) 愛の手帳の程度が1度については、母集団が1人のため省略した。



## 2 経済基盤

### (1) 収入の種類(3つ以内の複数回答) - 愛の手帳の程度別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が最も高く69.1%

平成19年中の収入の種類を聞いたところ、「年金・恩給」の割合が最も高く69.1%、次いで「手当」38.3%、「作業所等の工賃」29.9%、「賃金・給料」29.6%となっている。

「賃金・給料」と「作業所等の工賃」を合わせた割合は59.5%で前回調査(15年度調査)と比べると、5.4ポイント増加した。(表Ⅲ-6-1 本文121p)

平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表Ⅲ-6-1 収入の種類-愛の手帳の程度別

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
総数	100.0 (805)	29.6	0.1	-	1.0	0.1	2.0	0.1	69.1	2.7	38.3	0.2	0.4	29.9	2.0	4.3	0.6
		└── 59.5 ──┘															
1度	100.0 (31)	-	3.2		-	-	6.5	-	80.6	-	45.2	-	-	3.2	3.2	9.7	3.2
2度	100.0 (205)	4.9	-		-	-	1.0	0.5	80.0	2.0	50.2	-	0.5	30.2	1.5	4.9	-
3度	100.0 (263)	28.1	-		0.4	-	1.1	-	76.0	1.1	39.2	-	0.8	43.7	1.9	3.4	0.4
4度	100.0 (306)	50.3	-		2.3	0.3	2.9	-	54.6	4.9	28.8	0.7	-	20.6	2.3	4.2	1.0
15年度調査	100.0 (529)	54.1	0.2	0.5	0.8	0.2	0.5	-	62.0	3.4	38.2	0.2	-	...	3.2	6.3	1.1

(注) 前回調査(15年度調査)では「作業所の工賃」は「賃金・給料」に含めて聞いている。

(2) 平成19年中の収入額（生活保護費を除く）－年齢階級、愛の手帳の程度別

年収は「50～100万円未満」の割合が最も高い

平成19年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が最も高く32.8%、次いで「100～150万円未満」が26.0%である。(表Ⅲ-6-2 本文124p)

問 あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や福祉作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

表Ⅲ-6-2 平成19年中の収入額（生活保護費を除く）－年齢階級、愛の手帳の程度別

		総数	収入なし	50万円未満	50万円未満	100万円未満	100万円未満	200万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	500万円未満	無回答
総数		100.0 (805)	4.5	11.1	32.8	26.0	12.0	5.2	2.2	1.6	0.1	-	-	4.5
年齢階級別	19歳以下	100.0 (37)	37.8	27.0	13.5	13.5	2.7	-	2.7	2.7	-	-	-	-
	20～29歳	100.0 (230)	2.6	13.5	30.9	24.3	14.3	7.8	2.2	1.3	-	-	-	3.0
	30～39歳	100.0 (268)	2.6	8.6	32.1	26.9	16.0	6.0	2.2	1.9	-	-	-	3.7
	40～49歳	100.0 (134)	3.0	9.7	36.6	32.1	9.0	3.0	0.7	1.5	-	-	-	4.5
	50～59歳	100.0 (78)	2.6	14.1	37.2	21.8	6.4	3.8	3.8	2.6	-	-	-	7.7
	60歳以上	100.0 (58)	5.2	1.7	41.4	27.6	5.2	1.7	3.4	-	1.7	-	-	12.1
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	9.7	-	45.2	25.8	6.5	3.2	3.2	-	-	-	-	6.5
	2度	100.0 (205)	4.4	7.3	39.0	26.8	11.7	5.9	0.5	-	-	-	-	4.4
	3度	100.0 (263)	3.4	15.2	34.6	26.2	9.1	3.4	1.5	1.9	-	-	-	4.6
	4度	100.0 (306)	4.9	11.1	25.8	25.2	15.4	6.5	3.9	2.6	0.3	-	-	4.2
平成15年度調査		100.0 (647)	6.3	14.2	32.8	26.3	8.7	4.3	0.5	0.2	0.2	-	0.2	6.5

### 3 社会参加

#### 現在利用している通所施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

－年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

※平日の日中主に通所施設（作業所、デイケア等を含む）で過ごしている340人が対象

現在利用している施設に対する不満の内容は「工賃が少ない」の割合が最も高い

平日の日中主に通所施設（作業所、デイケア等を含む）で過ごしている人で、現在利用している施設に「不満がある」と答えた割合は43.2%、「不満はない」は52.4%であった。

不満の内容は「工賃が少ない」の割合が20.3%と高く、愛の手帳の程度別にみると「工賃が少ない」の人では4度で29.7%と高くなっている。（表Ⅲ-7-1 本文126p）

質問 あなたは、現在利用している施設に対して不満はありますか。

表Ⅲ-7-1 現在利用している通所施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

－年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	不満がある	不満の内容										不満はない	無回答	
			自由がない	言いたいことが言えない	情報やコミュニケーションがとれない	職員の方に対する不満がある	通所者・職員以外の人との交流がない	訓練や作業にやりがいがない	工賃が少ない	医療的ケアが足りない	送迎の体制が不十分	その他			
総数	100.0 (340)	43.2	1.8	5.0	4.1	5.9	7.6	2.6	20.3	4.7	3.8	11.8	52.4	4.4	
年齢階級別	19歳以下 (19)	100.0	26.3	-	-	-	-	-	15.8	10.5	10.5	10.5	68.4	5.3	
	20～29歳 (108)	100.0	52.8	1.9	6.5	3.7	7.4	13.9	3.7	24.1	4.6	3.7	15.7	45.4	1.9
	30～39歳 (126)	100.0	44.4	2.4	6.3	5.6	6.3	7.1	2.4	18.3	4.8	4.0	11.1	49.2	6.3
	40～49歳 (58)	100.0	36.2	1.7	3.4	5.2	5.2	3.4	-	20.7	3.4	3.4	8.6	58.6	5.2
	50歳以上 (29)	100.0	27.6	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	6.9	17.2	3.4	0.0	6.9	69.0	3.4
愛の手帳の程度別	1度 (11)	100.0	54.5	-	9.1	-	-	9.1	-	-	18.2	-	36.4	45.5	-
	2度 (135)	100.0	45.9	0.7	5.2	3.7	5.9	10.4	3.7	12.6	6.7	5.9	15.6	46.7	7.4
	3度 (130)	100.0	37.7	1.5	1.5	3.1	6.2	5.4	1.5	25.4	3.8	3.1	7.7	60.8	1.5
	4度 (64)	100.0	46.9	4.7	10.9	7.8	6.3	6.3	3.1	29.7	-	1.6	7.8	48.4	4.7
回答者別	本人が回答 (93)	100.0	40.9	3.2	9.7	5.4	7.5	6.5	1.1	21.5	3.2	2.2	8.6	55.9	3.2
	本人が以外が回答 (222)	100.0	41.9	0.9	3.2	4.1	5.4	6.3	2.3	16.7	5.4	5.0	13.1	53.2	5.0

※回答者別について、不明は除いた。

#### 4 情報の入手やコミュニケーションの手段

##### 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

－年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

情報の入手やコミュニケーションをとる上で困ることは「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ「困ることがある」と答えた割合は55.8%と半数以上の人困ることがあると回答した。

「困ることがある」理由では、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」(27.1%)、「初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う」(25.1%)の割合が高い。

回答者別にみると「困ることがある」の割合は、本人が回答(47.5%)よりも本人以外が回答(60.2%)の割合の方が12.7ポイント高くなっている。(表Ⅲ-8-2 本文132p)

簡 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

表Ⅲ-8-2 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること〔2つまでの複数回答〕

－年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	困ることがある	わ	よ	初	係	ま	使	い	メ	そ	特に困らない	無回答
			か	い	め	が	わ	ん	い	の	の		
総数	100.0 (805)	55.8	9.2	25.1	27.1	6.0	2.9	11.1	36.6	7.6			
年齢階級別	19歳以下 (37)	100.0	64.9	10.8	29.7	37.8	2.7	8.1	10.8	29.7	5.4		
	20～29歳 (230)	100.0	56.1	8.3	26.1	26.5	7.8	2.2	9.6	37.0	7.0		
	30～39歳 (268)	100.0	58.2	9.7	23.1	27.6	5.2	1.9	14.2	34.0	7.8		
	40～49歳 (134)	100.0	53.0	9.0	27.6	28.4	6.7	3.0	7.5	35.8	11.2		
	50～59歳 (78)	100.0	59.0	10.3	25.6	25.6	5.1	5.1	14.1	37.2	3.8		
	60歳以上 (58)	100.0	39.7	8.6	20.7	19.0	3.4	3.4	6.9	53.4	6.9		
愛の手帳の程度別	1度 (31)	100.0	58.1	-	6.5	19.4	3.2	-	35.5	25.8	16.1		
	2度 (205)	100.0	58.5	8.3	17.1	31.7	2.0	1.0	19.5	28.8	12.7		
	3度 (263)	100.0	60.8	12.2	31.2	31.2	3.8	3.8	8.0	33.5	5.7		
	4度 (306)	100.0	49.3	8.2	27.1	21.2	10.8	3.6	5.6	45.8	4.9		
回答者別	本人が回答 (320)	100.0	47.5	7.8	25.6	20.6	9.1	4.1	4.7	45.9	6.6		
	本人以外が回答 (427)	100.0	60.2	9.8	22.7	31.1	3.5	1.6	16.9	31.9	8.0		

(注)回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

## 5 その他の福祉サービス等

### 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕

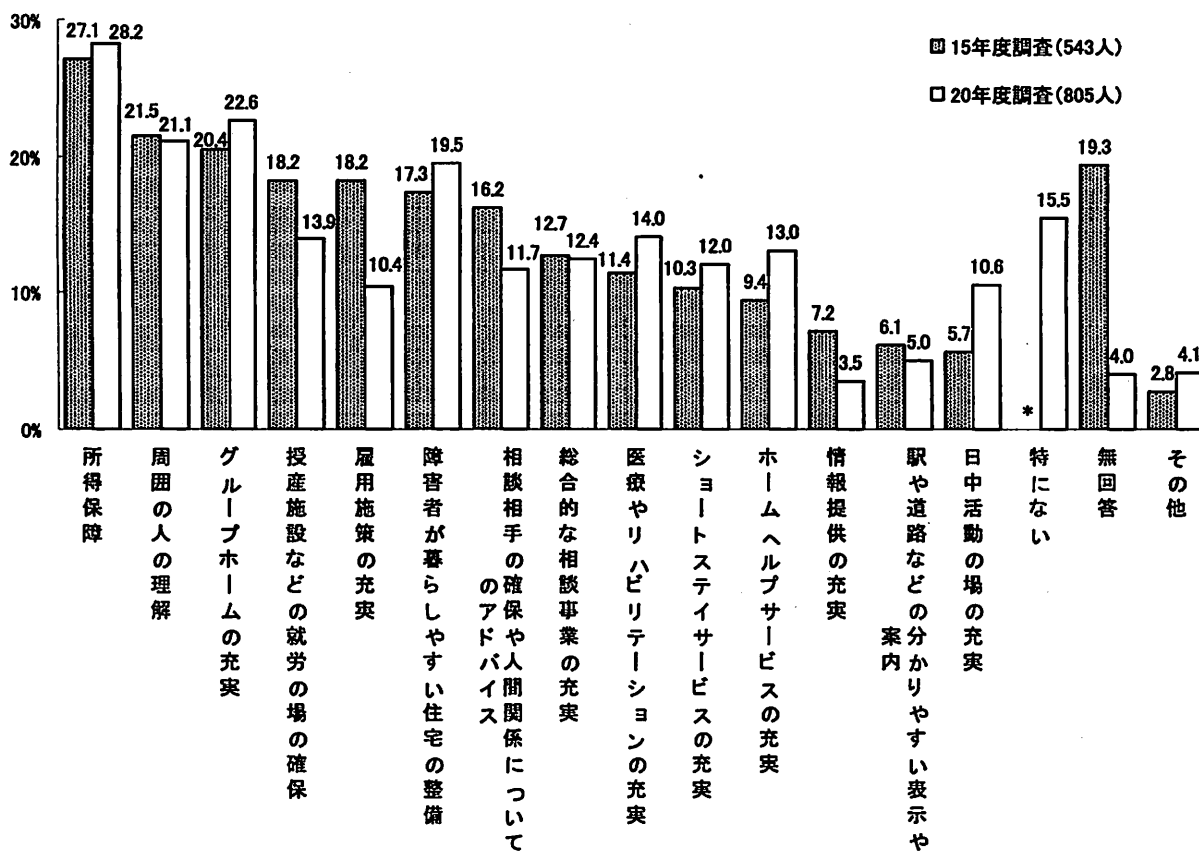
地域生活をする上で「グループホームの充実」が必要と答えた割合は、前回調査よりも2.2ポイント上昇し22.6%

地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何か聞いたところ「所得保障」の割合が28.2%と最も高く、次いで「グループホームの充実」が22.6%であった。

前回調査(15年度調査)との比較では、「グループホームの充実」の割合が2.2ポイント増加し22.6%、また、「雇用施策の充実」は7.8ポイント減少し10.4%となった。(図Ⅲ-11-1 本文146p)

問 あなたが、地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。

図Ⅲ-11-1 地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕



(注) \*は前回調査時選択肢がなかったもの

## 6 日常生活の状況

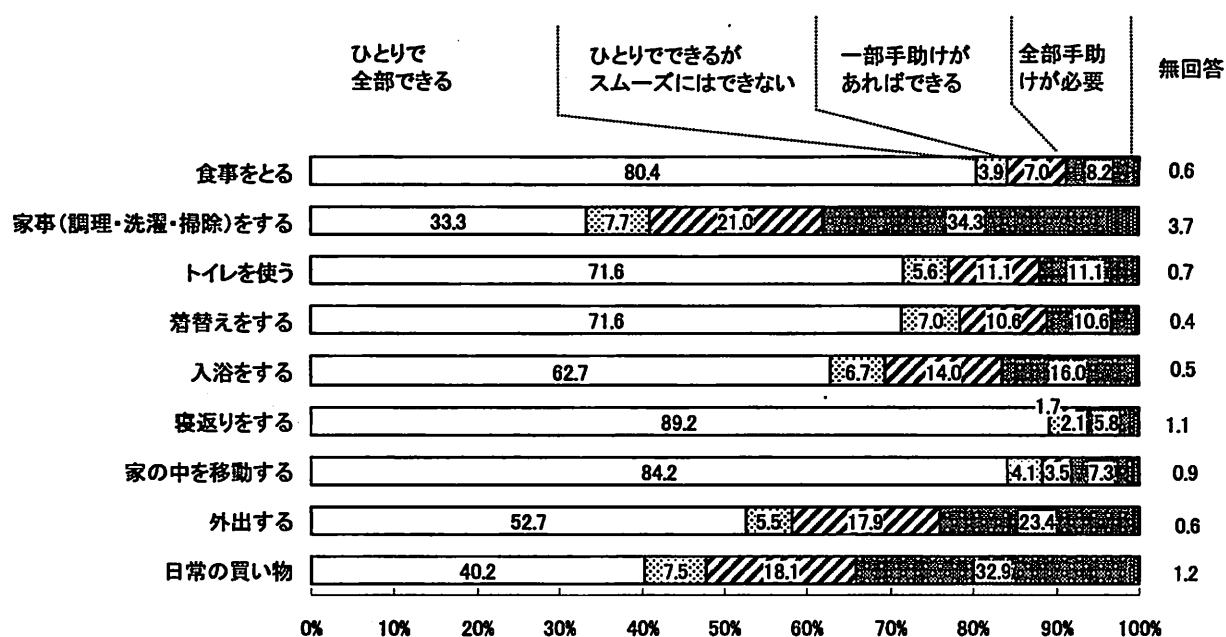
### (1) 日常生活動作能力

「全部手助けが必要」の割合が高いのは、家事をする、日常の買い物で3割以上

9項目の日常生活動作能力のうち、「ひとりで全部できる」と答えた割合が最も高いのは、寝返りをするが89.2%、ついで、家の中を移動するが84.2%である。一方、「全部手助けが必要」の割合は、家事（調理・洗濯・掃除）（34.3%）、日常の買い物（32.9%）で3割を超えている。（図Ⅲ-4-1）

問 あなたは次の動作について、自分一人で行えますか。

図Ⅲ-4-1 日常生活動作能力



(注)・できる、できないの判断について現に補装具等を使用している人は、使用した状態で聞いている。

(注)・総数は、9項目とも805人である。

(2) 日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う) について愛の手帳の程度別にみると、1 度ではどの動作でも「全部手助けが必要」の割合は 7 割以上となっている。現在一緒に生活している人別にみると、一人で暮らしている人では「a 食事をとる」「c トイレを使う」について「ひとりで全部できる」の割合は 9 割を超えているが、「b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする」については「ひとりで全部できる」の割合は 72.0%で、「一部手助けがあればできる」の割合が 20.0%となっている。(表Ⅲ-4-1)

表Ⅲ-4-1 日常生活動作能力 (a 食事をとる b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする c トイレを使う)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	a 食事をとる						b 家事 (調理・洗濯・掃除) をする						c トイレを使う									
	総数	ひとりで全部できる	ムひとりではできないがス	ムひとりではできないがス	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムひとりではできないがス	ムひとりではできないがス	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムひとりではできないがス	ムひとりではできないがス	一部手助けがあれば	全部手助けが必要	無回答	
総数	100.0 (805)	80.4	3.9	7.0	8.2	0.6	100.0 (805)	33.3	7.7	21.0	34.3	3.7	100.0 (805)	71.6	5.6	11.1	11.1	0.7				
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	9.7	3.2	12.9	<u>74.2</u>	-	100.0 (31)	-	-	3.2	<u>93.5</u>	3.2	100.0 (31)	6.5	-	9.7	<u>77.4</u>	6.5			
	2度	100.0 (205)	54.1	7.8	19.0	17.6	1.5	100.0 (205)	5.4	3.4	18.0	68.8	4.4	100.0 (205)	35.1	8.3	30.2	25.9	0.5			
	3度	100.0 (263)	92.0	3.0	3.4	1.5	-	100.0 (263)	33.1	8.4	27.8	26.2	4.6	100.0 (263)	82.9	9.1	5.3	2.3	0.4			
	4度	100.0 (306)	95.1	2.0	1.3	1.0	0.7	100.0 (306)	55.6	10.8	19.0	12.1	2.6	100.0 (306)	92.8	1.3	3.3	2.0	0.7			
回答者別	本人が回答	100 (320)	94.1	2.9	1.6	1.6	-	100 (320)	70.8	8.0	11.7	9.5	-	100 (320)	94.9	1.5	2.2	0.7	0.7			
	本人以外が回答	100 (427)	70.7	4.7	10.5	13.3	0.7	100 (427)	43.2	9.8	27.3	15.8	3.8	100 (427)	86.9	4.9	5.5	2.7	-			
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (560)	82.1	3.2	6.8	7.5	0.4	100.0 (560)	31.6	8.8	20.5	35.4	3.8	100.0 (560)	72.9	5.9	10.5	10.4	0.4			
	夫、妻	100.0 (21)	85.7	9.5	-	-	4.8	100.0 (21)	61.9	-	14.3	14.3	9.5	100.0 (21)	81.0	4.8	4.8	-	9.5			
	子ども	100.0 (15)	93.3	-	-	-	6.7	100.0 (15)	86.7	-	6.7	-	6.7	100.0 (15)	86.7	-	-	-	13.3			
	兄弟姉妹	100.0 (290)	80.3	5.5	6.2	6.9	1.0	100.0 (290)	30.0	10.7	19.7	36.6	3.1	100.0 (290)	70.7	7.9	11.7	9.0	0.7			
	その他の親族	100.0 (51)	90.2	7.8	-	2.0	-	100.0 (51)	45.1	13.7	15.7	25.5	-	100.0 (51)	86.3	3.9	5.9	3.9	-			
一人で暮らしている	100.0 (25)	<u>96.0</u>	-	4.0	-	-	100.0 (25)	<u>72.0</u>	4.0	<u>20.0</u>	4.0	-	100.0 (25)	<u>96.0</u>	-	-	4.0	-				

(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

(3) 日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする) について愛の手帳の程度別にみると、「e 入浴をする」について「全部手助けが必要」の割合は、1 度が最も高く 90.3% となっている。(表Ⅲ-4-2)

表Ⅲ-4-2 日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	d着替えをする						e入浴をする						f寝返りをする								
	総数	ひとり だけで 全部 できる	ひとり だけでは できない がス ム	ひとり だけでは できない がス ム ひとり では できる	一部 手助け があれば できる	全部 手助け が必要	無 回答	総数	ひとり だけで 全部 できる	ひとり だけでは できない がス ム	ひとり だけでは できない がス ム ひとり では できる	一部 手助け があれば できる	全部 手助け が必要	無 回答	総数	ひとり だけで 全部 できる	ひとり だけでは できない がス ム	ひとり だけでは できない がス ム ひとり では できる	一部 手助け があれば できる	全部 手助け が必要	無 回答
総数	100.0 (805)	71.6	7.0	10.6	10.6	0.4	100.0 (805)	62.7	6.7	14.0	16.0	0.5	100.0 (805)	89.2	1.7	2.1	5.8	1.1			
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	3.2	-	12.9	83.9	-	100.0 (31)	-	-	9.7	90.3	-	100.0 (31)	32.3	9.7	6.5	51.6	-		
	2度	100.0 (205)	38.5	11.2	25.9	23.9	0.5	100.0 (205)	21.5	11.2	28.3	38.5	0.5	100.0 (205)	78.0	3.4	5.4	11.7	1.5		
	3度	100.0 (263)	83.7	7.2	6.1	2.7	0.4	100.0 (263)	73.4	8.0	12.5	5.7	0.4	100.0 (263)	94.7	1.5	1.1	1.5	1.1		
	4度	100.0 (306)	90.2	4.6	3.9	1.0	0.3	100.0 (306)	87.6	3.3	6.2	2.3	0.7	100.0 (306)	97.7	-	0.3	1.0	1.0		
回答者別	本人が回答	100 (320)	89.4	4.7	4.1	4.9	-	100 (320)	84.1	3.4	9.4	2.8	0.3	100 (320)	96.9	0.6	0.6	1.6	0.3		
	本人以外が回答	100 (427)	94.9	2.9	1.5	0.7	-	100 (427)	47.1	8.4	16.9	27.2	0.5	100 (427)	84.1	2.1	3.3	9.1	1.4		
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (560)	72.7	7.5	9.8	9.8	0.2	100.0 (560)	64.1	6.8	13.4	15.4	0.4	100.0 (560)	90.7	1.8	2.0	4.5	1.1		
	夫、妻	100.0 (21)	81.0	4.8	9.5	-	4.8	100.0 (21)	81.0	-	9.5	4.8	4.8	100.0 (21)	90.5	-	4.8	-	4.8		
	子ども	100.0 (15)	93.3	-	-	-	6.7	100.0 (15)	86.7	6.7	-	-	6.7	100.0 (15)	93.3	-	-	-	6.7		
	兄弟姉妹	100.0 (290)	69.7	9.0	11.0	10.0	0.3	100.0 (290)	62.4	6.9	15.5	14.5	0.7	100.0 (290)	91.4	1.7	1.0	4.8	1.0		
	その他の親族	100.0 (51)	88.2	2.0	7.8	2.0	-	100.0 (51)	82.4	2.0	7.8	5.9	2.0	100.0 (51)	98.0	-	-	2.0	-		
一人で暮らしている	100.0 (25)	96.0	-	4.0	-	-	100.0 (25)	96.0	-	4.0	-	-	100.0 (25)	100.0	-	-	-	-			

(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。



(4) 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物) について愛の手帳の程度別にみると、「h 外出する」「i 日常の買い物」について「全部手助けが必要」の割合は、1 度が最も高く 9 割を超えているが、2 度でも「全部手助けが必要」の割合は「h 外出する」で 54.6%、「i 日常の買い物」では 75.1%となっている。(表Ⅲ-4-3)

表Ⅲ-4-3 日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物)

—愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

	g 家の中を移動する							h 外出する						i 日常の買い物					
	総数	ひとりで全部できる	ムヒとリズにはできないがムヒとリズでできる	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムヒとリズにはできないがムヒとリズでできる	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答	総数	ひとりで全部できる	ムヒとリズにはできないがムヒとリズでできる	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答	
総数	100.0 (805)	84.2	4.1	3.5	7.3	0.9	100.0 (805)	52.7	5.5	17.9	23.4	0.6	100.0 (805)	40.2	7.5	18.1	32.9	1.2	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	9.7	3.2	19.4	64.5	3.2	100.0 (31)	-	-	9.7	90.3	-	100.0 (31)	-	-	3.2	93.5	3.2
	2度	100.0 (205)	67.8	9.8	6.8	15.1	0.5	100.0 (205)	10.2	2.9	31.7	54.6	0.5	100.0 (205)	3.9	1.0	18.0	75.1	2.0
	3度	100.0 (263)	92.8	3.0	1.1	2.3	0.8	100.0 (263)	60.1	9.9	16.3	12.9	0.8	100.0 (263)	38.4	14.8	24.0	22.1	0.8
	4度	100.0 (306)	95.4	1.3	1.6	0.7	1.0	100.0 (306)	80.1	3.9	10.8	4.6	0.7	100.0 (306)	70.3	6.2	14.7	7.8	1.0
回答者別	本人が回答	100 (320)	93.4	3.1	1.9	1.8	-	100 (320)	75.3	5.9	10.9	7.2	0.6	100 (320)	64.4	9.1	14.7	10.9	0.9
	本人以外が回答	100 (427)	77.8	4.4	6.2	11.9	1.2	100 (427)	36.8	4.7	22.7	35.4	0.5	100 (427)	23.4	5.6	19.2	50.3	1.4
現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	父親、母親	100.0 (560)	86.1	4.1	3.6	5.7	0.5	100.0 (560)	53.4	6.3	17.7	22.5	0.2	100.0 (560)	39.8	9.1	17.5	32.7	0.9
	夫、妻	100.0 (21)	90.5	-	4.8	-	4.8	100.0 (21)	61.9	9.5	14.3	9.5	4.8	100.0 (21)	66.7	-	14.3	14.3	4.8
	子ども	100.0 (15)	93.3	-	-	-	6.7	100.0 (15)	80.0	-	13.3	-	6.7	100.0 (15)	80.0	-	6.7	6.7	6.7
	兄弟姉妹	100.0 (290)	86.2	3.8	3.4	5.9	0.7	100.0 (290)	52.4	7.6	17.2	22.4	0.3	100.0 (290)	38.3	10.3	16.2	34.1	1.0
	その他の親族	100.0 (51)	94.1	2.0	2.0	2.0	-	100.0 (51)	72.5	7.8	7.8	11.8	-	100.0 (51)	62.7	3.9	7.8	25.5	-
	一人で暮らしている	100.0 (25)	96.0	-	-	4.0	-	100.0 (25)	96.0	-	-	4.0	-	100.0 (25)	76.0	-	12.0	8.0	4.0

(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

7 社会参加をする上で妨げになっていること [3つまでの複数回答]

－愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

社会参加をする上で妨げになっていることは「周りの人の障害者に対する理解不足」と「一緒に行く仲間がない」の割合が高い

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「周りの人の障害者に対する理解不足」(18.5%)、「一緒に行く仲間がない」(18.3%)の割合が高くなっている。

前回調査と比べると「介助者がいない」の割合は 8.2 ポイント減少、「一緒に行く仲間がない」も 6.1 ポイント減少した。また、「周りの人の障害者に対する理解不足」の割合も前回調査から 5.0 ポイント減少したが、平日の日中主に過ごしたところが通所施設（作業所、デイケア等を含む）の人では 24.1%と高くなっている。（表Ⅲ-7-3）

問 あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。

表Ⅲ-7-3 社会参加する上で妨げになっていること [3つまでの複数回答]

－愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別

		総数	表示が分らない	使つての移動が不便	電つやバスの移動が不便	介助者がいない	情報が無い	周りの人の障害者に対する理解不足	の障害を理由に施設等	い適切な指導者がいない	一緒に行く仲間がい	その他	特にな	無回答
総数		100.0 (805)	10.7	14.2	13.9	5.1	18.5	1.4	6.8	18.3	12.5	38.9	3.6	
愛の手帳の程度別	1度	100.0 (31)	6.5	22.6	25.8	-	9.7	3.2	3.2	16.1	38.7	16.1	3.2	
	2度	100.0 (205)	15.1	22.4	23.4	2.4	23.9	3.4	11.2	12.2	18.5	25.9	5.4	
	3度	100.0 (263)	11.4	13.3	14.8	6.8	20.5	-	6.1	22.4	10.3	37.3	3.0	
	4度	100.0 (308)	7.5	8.5	5.6	5.9	14.1	1.0	4.9	19.0	7.8	51.3	2.9	
平日の日中主に過ごしたところ別	自分の家	100.0 (154)	5.2	10.4	7.8	7.1	18.2	2.6	9.7	18.8	14.9	42.2	3.9	
	職場	100.0 (210)	6.2	5.2	3.3	4.3	13.3	-	3.3	16.2	7.6	56.7	2.4	
	通所施設(作業所、デイケア等を含む)	100.0 (340)	14.4	19.7	22.1	5.0	24.1	1.5	8.8	20.9	10.6	29.7	2.6	
	入所施設	100.0 (83)	16.9	20.5	16.9	2.4	10.8	1.2	3.6	8.4	28.9	26.5	9.6	
平成15年度調査		100.0 (647)	11.4	17.9	22.1	9.1	23.5	2.2	12.7	24.4	12.5	...	26.9	

## 8 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

—年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

障害のためにあきらめたり妥協したことは、「結婚」「就職」「旅行や遠くへの外出」の割合が高い

障害のためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことを聞いたところ、「結婚」(32.8%)、「就職」(30.7%)の割合が高くなっている。

回答者別にみると、本人が回答した人では「結婚」(26.3%)、「旅行や遠くへの外出」(23.1%)、「異性との付き合い」(22.2%)の割合が高くなっている。

前回調査(15年度調査)と比べると「スポーツ・文化活動」の割合が5.1ポイント増加した。(表Ⅲ-7-4)

問 あなたは障害を持っているためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。

表Ⅲ-7-4 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

—年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別

	総数	進学	就職	異性との付き合い	結婚	出産・育児	人付き合い	近くへの外出	旅行や遠くへの外出	どのおしよな	活動スポーツ・文化	その他	特にない	無回答	
総数	100.0 (805)	24.5	30.7	29.1	32.8	16.9	25.1	14.9	29.6	14.7	21.9	5.8	28.4	4.8	
年齢階級別	19歳以下 (37)	100.0	10.8	29.7	21.6	21.6	16.2	21.6	18.9	29.7	10.8	24.3	2.7	35.1	5.4
	20～29歳 (230)	100.0	27.4	33.0	31.7	30.4	16.1	24.3	13.9	29.1	15.2	20.0	6.5	29.6	4.3
	30～39歳 (268)	100.0	25.7	32.5	30.2	33.6	17.2	27.2	14.6	28.0	16.8	24.3	4.5	26.9	5.6
	40～49歳 (134)	100.0	25.4	33.6	31.3	45.5	18.7	25.4	16.4	33.6	14.2	23.9	6.0	20.9	5.2
	50歳以上 (116)	100.0	20.7	17.2	19.0	24.1	15.5	19.0	19.0	29.3	15.5	13.8	10.3	39.7	3.4
愛の手帳の程度別	1度 (31)	100.0	41.9	51.6	45.2	45.2	38.7	41.9	41.9	58.1	38.7	45.2	9.7	19.4	6.5
	2度 (205)	100.0	32.2	38.5	32.7	35.6	23.4	32.2	27.3	41.5	22.4	35.6	9.8	22.9	7.3
	3度 (263)	100.0	20.5	28.1	28.1	33.1	16.0	21.7	14.1	27.4	13.3	16.7	5.7	30.4	4.9
	4度 (306)	100.0	20.9	25.5	25.8	29.4	11.1	21.6	4.6	20.6	8.2	14.7	2.9	31.4	2.9
回答者別	本人が回答 (320)	100.0	15.3	21.6	22.2	26.3	12.2	18.1	6.6	23.1	6.6	12.5	3.1	38.4	2.5
	本人が以外が回答 (427)	100.0	32.3	38.2	35.6	37.9	21.1	31.6	21.5	34.9	21.8	29.3	8.4	22.0	5.4
平成15年度調査	100.0 (647)	26.1	32.8	28.4	30.6	13.8	25.2	11.4	25.7	11.1	16.8	3.4	26.7	11.6	

(注) 回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

## 9 成年後見制度の利用意向

—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別

成年後見制度を「今後利用したい」人の割合は、25.7%

成年後見制度を利用するつもりがあるか聞いたところ「わからない」の割合が37.3%、一方で「今後利用したい」の割合は25.7%であった。

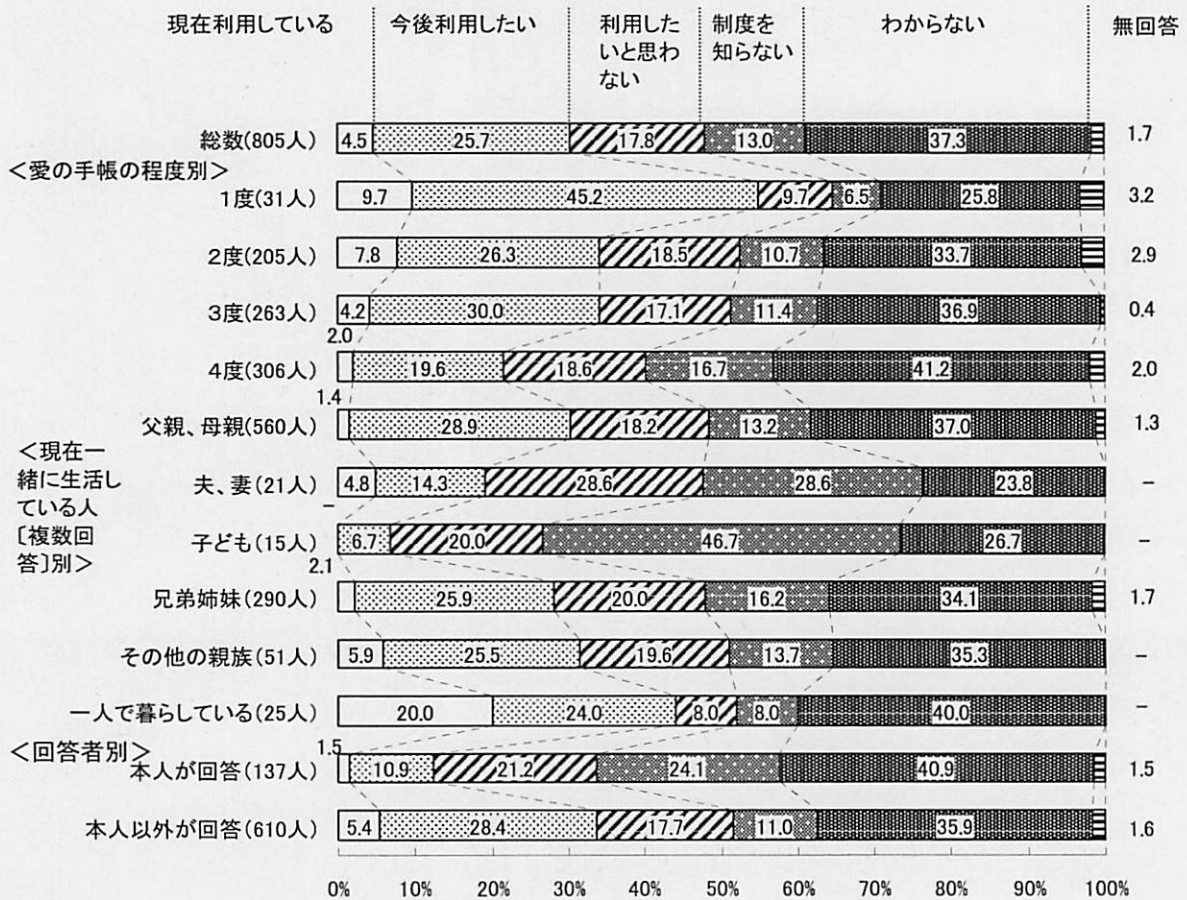
愛の手帳の程度別にみると「今後利用したい」の割合は、1度が45.2%と高い。

回答者別にみると本人以外が回答した人では「今後利用したい」の割合が28.4%で総数(25.7%)よりも高くなっている。(図Ⅲ-9-7)

問 あなたは、成年後見制度を利用するつもり(予定)がありますか。

図Ⅲ-9-7 成年後見制度の利用意向

—愛の手帳の程度、現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別



(注)回答者別については、回答者が不明のものは省略した。

# ○ 精神障害者 529 人（回答者）の状況

※報告書の「第 4 章 精神障害者の状況 (149p～205p)」からの主な結果の抜粋

## 1 就労の状況

### (1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－年齢階級別

「仕事をしている（共同作業所などを含む）」人の割合は、前回調査よりも 0.2 ポイント上昇し 26.5%

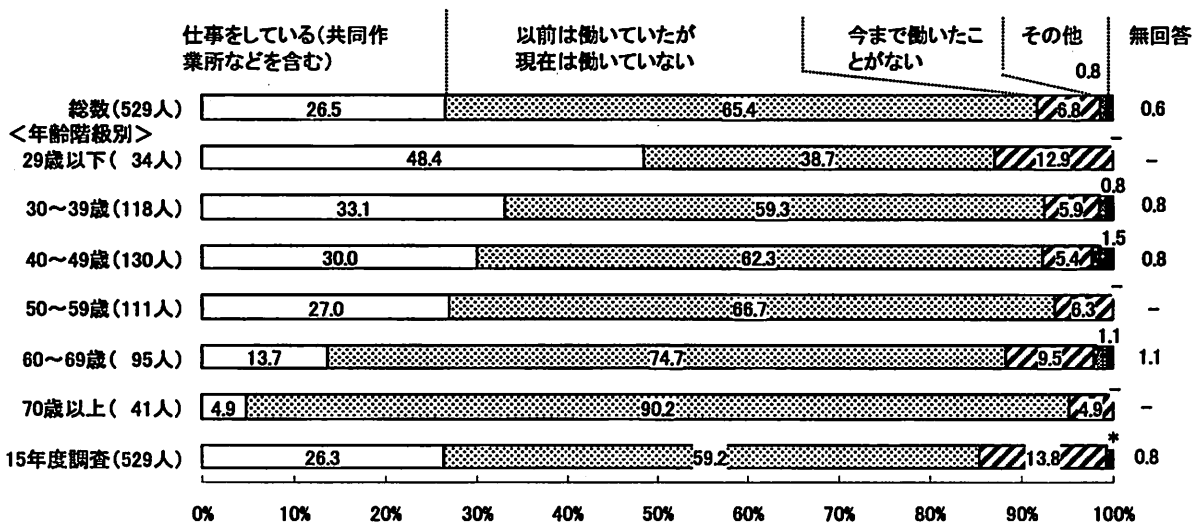
調査基準日現在に収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は 26.5%、「以前は働いていたが現在は働いていない」が 65.4%「今まで働いたことがない」は 6.8%であった。

年齢階級別にみると、「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は、全ての年齢階級において 5 割に満たない。

前回調査（15 年度調査）と比べて「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は 0.2 ポイント上昇した。（図 IV-5-1 本文 169p）

問 あなたは平成20年10月15日（調査基準日）現在、収入を伴う仕事をしていますか。

図 IV-5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）－年齢階級



(注) 前回調査(15 年度調査)では「その他(病気休職中、産休・育児休業中など)」の選択肢は設けていない。

(2) 仕事の種類〔複数回答〕－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

※仕事をしている140人が対象

前調査よりも「一般就労（正規の職員、アルバイト等）」の割合が19.8ポイント上昇

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が11.4%、「パート・アルバイト・日雇等」が42.9%で、これらを合わせた一般就労の割合は54.3%であった。前回調査(15年度調査)の一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合(34.5%)と比べると19.8ポイント上昇した。

一方、「作業所・授産施設等で就労」の割合は42.9%で前回調査(15年度調査)(56.8%)よりも13.9ポイント減少した。

年齢階級別にみると、一般就労(「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」)の割合は、29歳以下で76.5%と高くなっている。(表IV-5-1 本文171p)

問 仕事の種類は何ですか。

表IV-5-1 仕事の種類〔複数回答〕－年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

		総数	業 員	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	約 派 遣 職 員 を 含 む 契 約 職 員	イ ン ト ・ 日 雇 等	自 営 業	家 業 の 手 伝 い	内 職	設 業 所 で 就 業 ・ 授 産 施 施	そ の 他
総数		100.0 (140)	11.4	42.9		2.9	0.7	1.4	42.9	1.4	
			54.3								
年齢階級別	29歳以下	100.0 (17)	5.9	70.6		-	5.9	-	23.5	-	
			76.5								
	30～39歳	100.0 (39)	10.3	41.0	5.1	-	2.6	41.0	-		
	40～49歳	100.0 (39)	20.5	30.8	-	-	2.6	48.7	-		
	50～59歳	100.0 (30)	10.0	50.0	-	-	-	43.3	-		
	60歳以上	100.0 (15)	-	33.3	13.3	-	-	53.3	13.3		
(再掲)総数 65歳以上		100.0 (8)	-	25.0	-	-	-	62.5	12.5		
障害の等級別	1級	100.0 (6)	16.7	16.7	-	16.7	-	50.0	-		
	2級	100.0 (72)	5.6	30.6	1.4	-	2.8	59.7	2.8		
	3級	100.0 (62)	17.7	59.7	4.8	-	-	22.6	-		
15年度調査		100.0 (139)	11.5	23.0		5.8	4.3	1.4	56.8	2.2	
			34.5								

(注)・本文中のパート・アルバイト・日雇等には派遣職員・契約職員を含む。

・表頭の「会社等の役員」は該当者がいなかったため省略した。

### (3) 1週間の労働時間－仕事の種類（複数回答）、診断名（複数回答）別

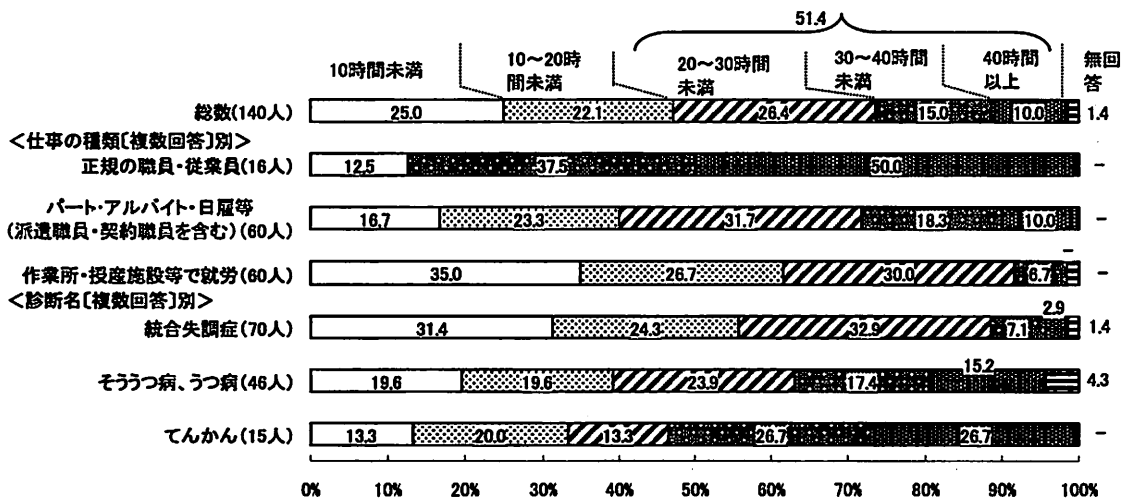
※仕事をしている140人が対象

1週間に20時間以上労働している人の割合は51.4%で、作業所・授産施設等では「10時間未満」の割合が最も高い

1週間の労働時間は20時間以上の割合が51.4%となっている。仕事の種類別にみると作業所・授産施設等で就労の割合は「10時間未満」の割合が35.0%と最も高い。(図IV-5-4 本文173p)

問 1週間の労働時間はどのくらいですか。

図IV-5-4 1週間の労働時間－仕事の種類（複数回答）、診断名（複数回答）別



### (4) 仕事をしていく上で困ること（複数回答）－性別

※仕事をしている人(共同作業所など含む)の内、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等(契約職員、派遣職員を含む)の76人が対象

仕事をしていく上で困ることは、男性は「定期的な通院や健康管理との両立」、女性では「人間関係(職場内でのいじめなど)」の割合が最も高い

仕事をしていく上で「困ることがある」と答えた割合は76.3%、「困ることは特にない」は18.4%であった。性別で見ると、男性では「定期的な通院や健康管理との両立」の割合が26.1%で最も高く、女性では「人間関係(職場内でのいじめなど)」の割合が46.7%と最も高い。(表IV-5-3 本文176p)

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表IV-5-3 仕事をしていく上で困ること（複数回答）－性別

総数	困ることがある	仕事の内容	困る理由											困ることは特にな	無回答
			ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他	ど内人法伝言じ内容分り境職働勤務通動立定期両育児その他		
100.0 (76)	76.3	11.8	27.6	11.8	19.7	3.9	11.8	5.3	6.6	23.7	3.9	10.5	18.4	5.3	
男 (46)	73.9	4.3	15.2	4.3	17.4	2.2	13.0	6.5	8.7	26.1	-	15.2	17.4	8.7	
女 (30)	80.0	23.3	46.7	23.3	23.3	6.7	10.0	3.3	3.3	20.0	10.0	3.3	20.0	-	

## 2 経済基盤

### (1) 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

－年齢階級、年間収入額（生活保護費を除く）、診断名（複数回答）別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が52.9%、「生活保護費」が31.0%

平成19年中の収入の種類（複数回答）は、「年金・恩給」の割合が52.9%と最も高く、次いで「生活保護費」の割合が31.0%となっている。

「年金・恩給」の割合を年間収入額別にみると50～100万円未満で88.5%、診断名別にみると統合失調症で61.5%とそれぞれ高くなっている。（表IV-6-1 本文182p）

問 平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表IV-6-1 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

－年齢階級、年間収入額（生活保護費を除く）、診断名（複数回答）別

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答	
総数	100.0 (529)	17.2	0.8	0.2	1.1	1.1	2.6	0.6	52.9	31.0	9.1	0.9	0.4	8.5	6.0	8.9	1.7	
年齢階級別	29歳以下 (34)	100.0	35.3	-	-	-	2.9	2.9	2.9	35.3	8.8	20.6	-	-	11.8	14.7	17.8	2.9
	30～39歳 (118)	100.0	22.9	1.7	-	-	-	5.1	-	45.8	22.9	7.6	1.7	-	11.0	3.4	11.0	0.8
	40～49歳 (130)	100.0	19.2	-	-	1.5	0.8	3.1	0.8	44.6	36.9	12.3	0.8	0.8	10.0	5.4	12.3	1.5
	50～59歳 (111)	100.0	18.0	0.9	0.9	0.9	1.8	0.9	0.9	45.9	35.1	6.3	1.8	0.9	8.1	7.2	8.1	2.7
	60歳以上 (136)	100.0	5.1	0.7	-	2.2	1.5	1.5	-	77.2	34.6	6.6	-	-	4.4	5.9	2.2	1.5
	(再掲)総数 65歳以上 (87)	100.0	3.4	-	-	3.4	1.1	2.3	-	77.0	32.2	4.6	-	-	4.6	5.7	1.1	1.1
(生活保護費を除く) 年間収入額別	収入なし (103)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	59.2	1.9	-	-	-	-	40.8	-	
	50万円未満 (81)	100.0	18.5	1.2	1.2	1.2	-	8.6	1.2	34.6	28.4	13.6	1.2	-	18.5	16.0	1.2	-
	50～100万円未満 (158)	100.0	9.6	-	-	0.6	1.3	0.6	-	88.5	20.5	8.3	0.6	0.6	10.9	5.8	-	-
	100～150万円未満 (67)	100.0	31.3	-	-	-	-	-	1.5	80.6	29.9	13.4	1.5	-	6.0	6.0	-	-
	150～200万円未満 (40)	100.0	25.0	2.5	-	5.0	2.5	5.0	-	75.0	25.0	20.0	2.5	-	12.5	5.0	-	-
	200万円以上 (46)	100.0	56.5	4.3	-	4.3	6.5	8.7	-	50.0	6.5	6.5	2.2	2.2	6.5	4.3	-	2.2
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症 (23)	100.0	21.7	-	-	-	4.3	-	30.4	52.2	4.3	-	-	-	4.3	17.4	-	
	統合失調症 (252)	100.0	13.9	0.4	0.4	0.8	0.8	1.2	0.4	61.5	36.1	7.5	-	-	12.3	5.2	6.0	2.0
	そううつ病、うつ病 (171)	100.0	24.0	1.8	-	0.6	2.3	5.3	1.8	44.4	30.4	11.7	2.9	1.2	5.3	6.4	7.6	1.2
	人格障害 (15)	100.0	13.3	-	-	6.7	-	13.3	-	40.0	40.0	13.3	-	-	6.7	-	20.0	-
	てんかん (52)	100.0	23.1	-	-	1.9	-	-	1.9	59.6	25.0	11.5	-	-	9.6	1.9	13.5	-
	その他 (85)	100.0	15.3	1.2	-	3.5	-	3.5	1.2	52.9	21.2	15.3	1.2	-	4.7	9.4	8.2	1.2
15年度調査 (529)	100.0	21.2	1.1	1.5	2.5	0.9	3.4	0.2	52.8	25.7	9.1	0.4	-	...	4.2	13.6	2.5	

(注) 前回調査(15年度調査)では「作業所の工賃」は「賃金・給料」に含めて聞いている。



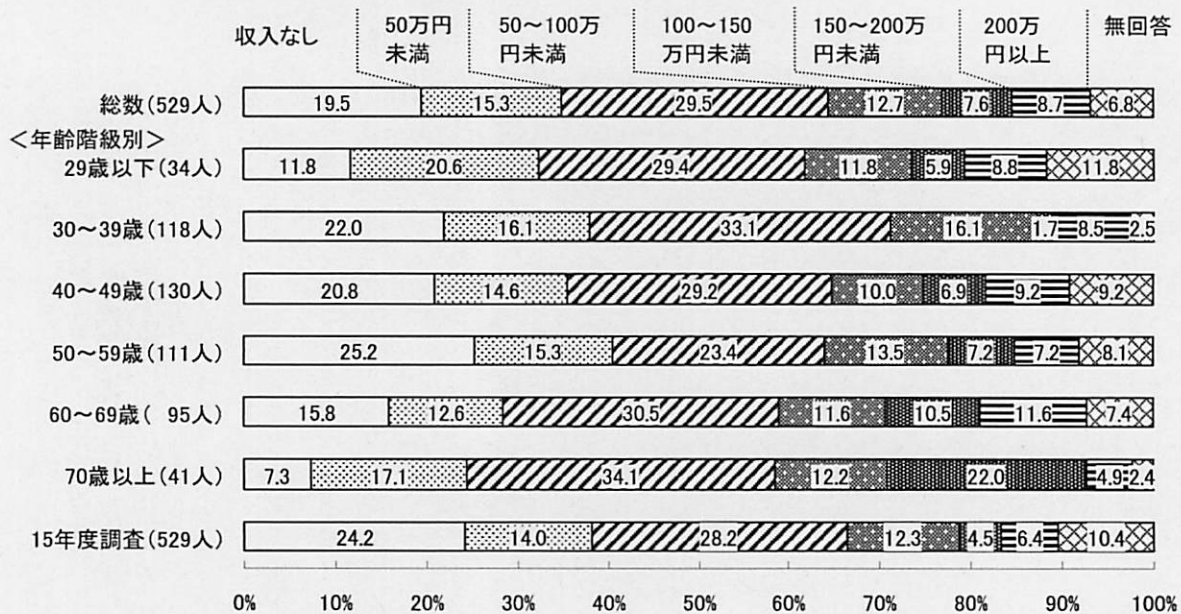
## (2) 年間収入額（生活保護費を除く）－年齢階級別

年収は「50～100万円未満」の割合が最も高い

平成19年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が高く29.5%である。年齢階級別にみると30～39歳では「収入なし」も含めた100万円未満の割合が7割を超えている(71.2%)。(図IV-6-3 本文184p)

問 あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

図IV-6-3 年間収入額（生活保護費を除く）－年齢階級別



### 3 社会参加

#### 現在利用している施設に対する不満（2つまでの複数回答）

##### －性別、平日の日中主に過ごしたところ別

※平日の日中主に通所施設（作業所、授産施設など）、地域活動センター、デイケア等、入所施設で過ごしている96人が対象

現在利用している施設に対する不満の内容は、「工賃が少ない」の割合が最も高い

平日の日中主に通所施設（作業所、授産施設など）、地域活動センター、デイケア等、入所施設で過ごしている人で、現在利用している施設に「不満がある」と答えた割合は47.9%、「不満はない」は45.8%であった。

平日の日中主に通所施設（作業所、授産施設など）で過ごした人は「不満がある」の割合が63.6%で、その内容は「工賃が少ない」の割合が50.0%と高くなっている。（表IV-7-2 本文187p）

あなたは、現在利用している施設に対して不満はありますか。

表IV-7-2 現在利用している施設に対する不満（2つまでの複数回答）

##### －性別、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	不満がある	自由がない	個室がない	プライバシーが確保されていない	言いたいことが言えない	情報やコミュニケーションがとれない	職員の利用者に対する接し方に不満がある	皆と同じサイクルで生活しなければならぬ	自由に外出ができない	住宅街から離れている	利用者・職員以外の人との交流がない	家族とあまり会えない	訓練や作業にやりがいがない	工賃が少ない	医療的ケアが足りない	送迎の体制が不十分	その他	不満はない	無回答	
総数	100.0 (96)	47.9	3.1	4.2	5.2	12.5	6.3	9.4	6.3	2.1	1.0	4.2	3.1	2.1	24.0	2.1	2.1	6.3	45.8	6.3	
性別	男	100.0 (60)	45.0	1.7	1.7	3.3	8.3	5.0	6.7	6.7	3.3	-	3.3	3.3	1.7	23.3	3.3	3.3	6.7	46.7	8.3
	女	100.0 (36)	52.8	5.6	8.3	8.3	19.4	8.3	13.9	5.6	-	2.8	5.6	2.8	2.8	25.0	-	-	5.6	44.4	2.8
平日の日中主に過ごしたところ別	通所施設(作業所、授産施設など)	100.0 (44)	63.6	2.3	2.3	2.3	13.6	6.8	15.9	9.1	-	-	4.5	-	4.5	50.0	2.3	4.5	4.5	34.1	2.3
	地域活動支援センター	100.0 (8)	37.5	-	12.5	12.5	25.0	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	12.5
	デイケア等	100.0 (27)	33.3	3.7	-	7.4	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	11.1	55.6	11.1
	入所施設(生活訓練施設、福祉ホーム等)	100.0 (17)	35.3	5.9	11.8	5.9	11.8	-	5.9	-	-	5.9	5.9	11.8	-	-	-	-	5.9	58.8	5.9

#### 4 情報の入手やコミュニケーションの手段

##### 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること

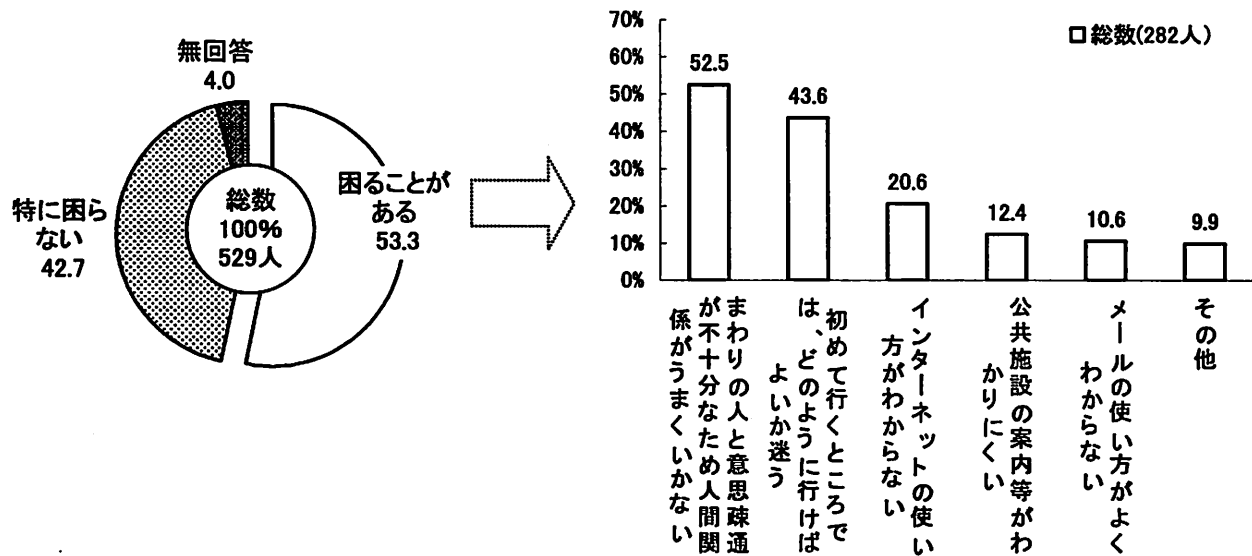
情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ることは、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」と答えた割合は53.3%と半数以上の人困ることがあると回答した。

「困ることがある」の内容で最も割合が高かったは、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」で52.5%であった。(図IV-8-2 本文 192p)

問 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図IV-8-2 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること



## 5 その他の福祉サービス等

### 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

－年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

今後利用したい福祉サービス等は、「就労支援サービス」の割合が最も高く、前回調査よりも2.1ポイント上昇し20.2%

今後利用したい福祉サービス等は、「就労支援サービス」(20.2%)、「ホームヘルプサービス」(19.7%)、「相談サービス(地域活動支援センターなど)」(19.7%)の割合が高く、前回調査と比べて「就労支援サービス」の割合が2.1ポイント増加した。

年齢階級別にみると「就労支援サービス」の割合は30代で最も高く(34.7%)、平日の日中主に過ごしたところ別にみると「就労支援サービス」の割合は通所施設(作業所、授産施設など)で過ごした人が40.9%と高くなっている。(表IV-10-4 本文205p)

問 あなたが、今後利用したい福祉サービス等は何ですか。

表IV-10-4 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

－年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	ホームヘルプサービス	授産施設	通所サービス	ステーションサービス	地域活動支援センター	相談サービス	就労支援サービス	情報提供の充実	訪問看護	デイケア	マン・オン・ブズ	習慣処理	自動グループ	その他	特になし	無回答
総数	100.0 (529)	19.7	11.7	8.9	19.7	20.2	16.1	9.8	14.2	5.3	5.5	4.3	27.0	4.3			
年齢階級別	29歳以下 (34)	12.9	19.4	6.5	35.5	22.6	19.4	3.2	3.2	-	9.7	-	25.8	3.2			
	30～39歳 (118)	7.6	12.7	8.5	26.3	34.7	28.0	4.2	12.7	9.3	8.5	2.5	24.6	2.5			
	40～49歳 (130)	15.4	16.9	6.9	20.8	26.9	16.2	5.4	16.9	6.9	8.5	3.8	26.9	3.1			
	50～59歳 (111)	21.6	9.9	5.4	19.8	16.2	12.6	11.7	16.2	4.5	2.7	5.4	31.5	4.5			
	60～69歳 (95)	35.8	7.4	14.7	13.7	4.2	10.5	22.1	10.5	2.1	2.1	3.2	25.3	7.4			
	70歳以上 (41)	31.7	2.4	12.2	-	2.4	2.4	12.2	22.0	2.4	-	12.2	29.3	4.9			
	(再掲) 65歳以上 (87)	31.0	3.4	14.9	6.9	2.3	5.7	14.9	18.4	3.4	1.1	8.0	28.7	8.0			
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症 (23)	8.7	-	8.7	21.7	30.4	13.0	-	13.0	8.7	26.1	8.7	21.7	4.3			
	統合失調症 (252)	19.0	19.0	8.3	19.4	21.4	13.9	12.7	19.4	1.6	4.8	3.6	25.4	3.6			
	そううつ病、うつ病 (171)	19.9	4.1	6.4	24.6	18.7	22.2	6.4	8.2	7.6	8.2	2.9	31.6	4.7			
	人格障害 (15)	33.3	13.3	-	13.3	26.7	26.7	-	13.3	33.3	13.3	6.7	13.3	-			
	てんかん (52)	17.3	7.7	11.5	17.3	25.0	15.4	11.5	5.8	3.8	3.8	1.9	36.5	3.8			
平日の日中主に過ごしたところ別	自分の家 (354)	22.0	8.5	8.2	21.2	18.6	17.8	10.2	12.7	5.1	5.1	3.1	27.7	3.4			
	職場 (52)	9.6	1.9	9.6	9.6	30.8	23.1	-	7.7	5.8	9.6	1.9	44.2	1.9			
	通所施設(作業所、授産施設など) (44)	6.8	36.4	11.4	22.7	40.9	9.1	11.4	4.5	9.1	9.1	6.8	20.5	2.3			
	デイケア等 (27)	25.9	25.9	7.4	25.9	11.1	11.1	22.2	55.6	-	7.4	-	11.1	3.7			
	入所施設(生活訓練施設、福祉ホーム等) (17)	35.3	11.8	5.9	5.9	11.8	11.8	17.6	17.6	11.8	-	23.5	11.8	11.8			
15年度調査	100.0 (529)	25.3	17.4	8.3	23.1	18.1	20.4	14.2	15.9	5.9	4.7	4.3	23.4	2.8			

## 6 日常生活の状況

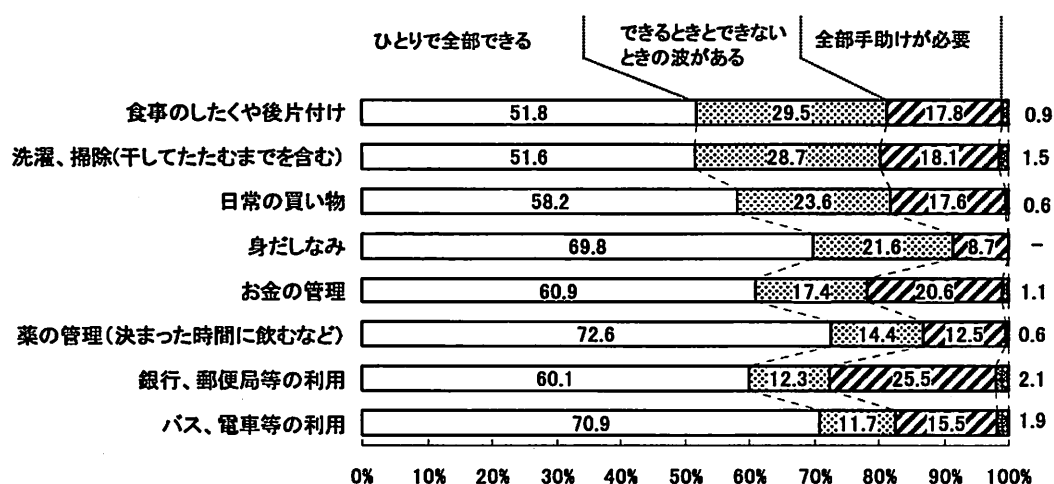
### (1) 日常生活動作能力

「できるときとできないときの波がある」と答えた割合が高いのは、食事のしたくや後片付け・洗濯、掃除で3割弱

8項目の日常生活動作能力のうち、「ひとりで全部できる」と答えた割合が最も高いのは、薬の管理（決まった時間に飲むなど）で72.6%である。一方、「全部手助けが必要」と答えた割合が最も高いのは、銀行、郵便局等の利用で25.5%となっている。（図IV-4-1）

問 あなたは次の動作について、自分一人で行えますか。

図IV-4-1 日常生活動作能力



(注)総数は8項目とも529人である。

(2) 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) 一年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) について年齢階級別にみると、「できるときとできないときの波がある」の割合は、49歳以下の年齢階級で他の年代よりも高くなっている。障害の等級別にみると、1級では「全部手助けが必要」の割合が「a 食事のしたくや後片付け」「b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む)」「c 日常の買い物」全ての動作で4割以上となっている。(表IV-4-1)

表IV-4-1 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) 一年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

	a 食事のしたくや後片付け					b 掃除、洗濯(干してたたむまでを含む)					c 日常の買い物					
	総数	できるときと波があるとき	できるときと波がないとき	必要全部手助けが	無回答	総数	できるときと波があるとき	できるときと波がないとき	必要全部手助けが	無回答	総数	できるときと波があるとき	できるときと波がないとき	必要全部手助けが	無回答	
総数	100.0 (529)	51.8	29.5	17.8	0.9	100.0 (529)	51.6	28.7	18.1	1.5	100.0 (529)	58.2	23.6	17.6	0.6	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (34)	52.9	35.3	8.8	2.9	100.0 (34)	50.0	35.3	14.7	-	100.0 (34)	58.8	29.4	11.8	-
	30~39歳	100.0 (118)	46.6	34.7	17.8	0.8	100.0 (118)	46.6	33.9	16.9	2.5	100.0 (118)	61.0	25.4	13.6	-
	40~49歳	100.0 (130)	47.7	35.4	15.4	1.5	100.0 (130)	51.5	35.4	10.8	2.3	100.0 (130)	56.2	30.0	13.1	0.8
	50~59歳	100.0 (111)	61.3	28.8	9.9	-	100.0 (111)	64.0	24.3	11.7	-	100.0 (111)	67.6	18.0	13.5	0.9
	60~69歳	100.0 (95)	56.8	20.0	23.2	-	100.0 (95)	51.6	22.1	25.3	1.1	100.0 (95)	56.8	22.1	21.1	-
	70歳以上	100.0 (41)	41.5	14.6	41.5	2.4	100.0 (41)	34.1	14.6	47.8	2.4	100.0 (41)	34.1	12.2	51.2	2.4
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	49.4	16.1	33.3	1.1	100.0 (87)	40.2	17.2	40.2	2.3	100.0 (87)	42.5	19.5	36.8	1.1
障害の等級別	1級	100.0 (68)	29.4	26.5	42.6	1.5	100.0 (68)	27.9	29.4	41.2	1.5	100.0 (68)	35.3	13.2	50.0	1.5
	2級	100.0 (267)	51.7	28.8	18.7	0.7	100.0 (267)	52.4	27.3	18.4	1.9	100.0 (267)	58.8	25.1	15.4	0.7
	3級	100.0 (194)	59.8	31.4	7.7	1.0	100.0 (194)	58.8	30.4	9.8	1.0	100.0 (194)	65.5	25.3	9.3	-
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	78.3	13.0	8.7	-	100.0 (23)	82.6	17.4	-	-	100.0 (23)	82.6	17.4	-	-
	統合失調症	100.0 (252)	52.0	31.7	15.9	0.4	100.0 (252)	53.2	29.8	15.9	1.2	100.0 (252)	59.5	24.2	15.9	0.4
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	47.4	39.8	12.3	0.6	100.0 (171)	48.0	37.4	13.5	1.2	100.0 (171)	54.4	30.4	15.2	-
	人格障害	100.0 (15)	33.3	33.3	33.3	-	100.0 (15)	33.3	40.0	26.7	-	100.0 (15)	26.7	53.3	20.0	-
	てんかん	100.0 (52)	55.8	19.2	19.2	5.8	100.0 (52)	55.8	25.0	15.4	3.8	100.0 (52)	69.2	13.5	13.5	3.8

(3) 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど))

一年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど)) について年齢階級別にみると、「f 薬の管理」を「ひとりで全部できる」の割合は30代～50代で7割以上となっている。

障害の等級別にみると「e お金の管理」が「全部手助けが必要」の割合は1級で5割を超えている。(55.9%) (表IV-4-2)

表IV-4-2 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど)) 一年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

	d身だしなみ					eお金の管理					f薬の管理(決まった時間に飲むなど)					
	総数	でひとり できると 全部	の波がない ときと 全部	でできる ときと 全部	必要全部 手助けが 無回答	総数	でひとり できると 全部	の波がない ときと 全部	でできる ときと 全部	必要全部 手助けが 無回答	総数	でひとり できると 全部	の波がない ときと 全部	でできる ときと 全部	必要全部 手助けが 無回答	
総数	100.0 (529)	69.8	21.6	8.7	-	100.0 (529)	60.9	17.4	20.6	1.1	100.0 (529)	72.6	14.4	12.5	0.6	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (34)	85.3	14.7	-	100.0 (34)	67.6	14.7	17.6	-	100.0 (34)	55.9	35.3	8.8	-	
	30～39歳	100.0 (118)	67.8	26.3	5.9	100.0 (118)	60.2	18.6	17.8	3.4	100.0 (118)	<u>72.9</u>	16.9	10.2	-	
	40～49歳	100.0 (130)	67.7	26.9	5.4	100.0 (130)	60.0	19.2	20.0	0.8	100.0 (130)	<u>76.9</u>	16.9	6.2	-	
	50～59歳	100.0 (111)	75.7	18.9	5.4	100.0 (111)	69.4	18.0	12.6	-	100.0 (111)	<u>82.0</u>	9.9	8.1	-	
	60～69歳	100.0 (95)	69.5	16.8	13.7	100.0 (95)	58.9	15.8	24.2	1.1	100.0 (95)	69.5	9.5	17.9	3.2	
	70歳以上	100.0 (41)	53.7	14.6	31.7	100.0 (41)	41.5	12.2	46.3	-	100.0 (41)	53.7	4.9	41.5	-	
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	57.5	16.1	26.4	-	100.0 (87)	43.7	18.4	37.9	-	100.0 (87)	58.6	6.9	33.3	1.1
障害の等級別	1級	100.0 (68)	50.0	19.1	30.9	-	100.0 (68)	26.5	17.6	<u>55.9</u>	-	100.0 (68)	38.2	16.2	45.6	-
	2級	100.0 (267)	69.3	22.8	7.9	-	100.0 (267)	62.2	18.4	18.0	1.5	100.0 (267)	74.5	14.2	10.9	0.4
	3級	100.0 (194)	77.3	20.6	2.1	-	100.0 (194)	71.1	16.0	11.9	1.0	100.0 (194)	82.0	13.9	3.1	1.0
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	78.3	21.7	-	-	100.0 (23)	65.2	21.7	8.7	4.3	100.0 (23)	87.0	8.7	4.3	-
	統合失調症	100.0 (252)	71.4	21.4	7.1	-	100.0 (252)	61.1	17.1	20.2	1.6	100.0 (252)	76.6	13.5	9.9	-
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	70.8	25.1	4.1	-	100.0 (171)	62.0	22.8	14.6	0.6	100.0 (171)	73.1	21.1	5.8	-
	人格障害	100.0 (15)	66.7	20.0	13.3	-	100.0 (15)	40.0	26.7	26.7	6.7	100.0 (15)	46.7	26.7	26.7	-
	てんかん	100.0 (52)	69.2	26.9	3.8	-	100.0 (52)	69.2	13.5	17.3	-	100.0 (52)	73.1	15.4	9.6	1.9

(4) 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

一年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用) について年齢階級別にみると、「g 銀行、郵便局等の利用」が「全部手助けが必要」の割合は 60 代 (32.6%)、70 代 (53.7%) で高い。

障害の等級別にみると「g 銀行、郵便局等の利用」「h バス、電車等の利用」が「全部手助けが必要」の割合は 1 級で 5 割を超えている。(表IV-4-3)

表IV-4-3 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

一年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

		g 銀行、郵便局等の利用					h バス、電車等の利用				
		総数	できとりの波があるとき	できるとき	必要全部手助けが	無回答	総数	できとりの波があるとき	できるとき	必要全部手助けが	無回答
総数		100.0 (529)	60.1	12.3	25.5	2.1	100.0 (529)	70.9	11.7	15.5	1.9
年齢階級別	29歳以下	100.0 (34)	58.8	17.6	23.5	-	100.0 (34)	76.5	11.8	8.8	2.9
	30～39歳	100.0 (118)	66.1	14.4	16.9	2.5	100.0 (118)	70.3	11.9	14.4	3.4
	40～49歳	100.0 (130)	55.4	17.7	24.6	2.3	100.0 (130)	70.8	18.5	8.5	2.3
	50～59歳	100.0 (111)	69.4	9.0	19.8	1.8	100.0 (111)	79.3	9.0	11.7	-
	60～69歳	100.0 (95)	56.8	7.4	<u>32.6</u>	3.2	100.0 (95)	71.6	8.4	17.9	2.1
	70歳以上	100.0 (41)	41.5	4.9	<u>53.7</u>	-	100.0 (41)	43.9	4.9	51.2	-
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	48.3	6.9	44.8	-	100.0 (87)	50.6	10.3	37.9	1.1
障害の等級別	1級	100.0 (68)	20.6	10.3	<u>66.2</u>	2.9	100.0 (68)	38.2	10.3	<u>50.0</u>	1.5
	2級	100.0 (267)	61.4	13.5	23.6	1.5	100.0 (267)	74.9	12.0	12.0	1.1
	3級	100.0 (194)	72.2	11.3	13.9	2.6	100.0 (194)	76.8	11.9	8.2	3.1
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	78.3	8.7	8.7	4.3	100.0 (23)	82.6	8.7	8.7	-
	統合失調症	100.0 (252)	58.3	12.3	26.6	2.8	100.0 (252)	74.6	10.3	13.1	2.0
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	62.6	19.9	17.0	0.6	100.0 (171)	70.2	16.4	11.1	2.3
	人格障害	100.0 (15)	53.3	20.0	26.7	-	100.0 (15)	53.3	20.0	26.7	-
	てんかん	100.0 (52)	53.8	9.6	28.8	7.7	100.0 (52)	73.1	15.4	9.6	1.9



(5) 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕—年齢階級、診断名〔複数回答〕別

過去1年間で困ったことは「夜間や休日に具合が悪くなって困った」割合が最も高い

過去1年間で何か「困ったことがある」と答えた割合は、60.1%、「特に困ったことはない」割合は38.6%で、前回調査（15年度調査）と比べると「困ったことがある」の割合は4.0ポイント減少し、「特に困ったことはない」の割合は5.0ポイント増加した。

困った内容は、「夜間や休日に具合が悪くなって困った」の割合が最も高く31.2%で、年齢階級別にみると49歳以下の年齢階級で総数の割合よりも高くなっている。（表IV-4-4）

問 あなたは、過去1年間で何か困ったことはありますか。

表IV-4-4 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕  
—年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	困ったこと											特に困ったことはない	無回答	
		困ったことがある	夜間や休日に具合が悪く困った	夜間や休日に相手が困る	家族の病気で生活が支えられなくなる	家族の病気や外出など	学校や職場や地域生活	借金や管理や財産の保	金銭の管理や財産の保	行先や公共機関などへ	役所や公共機関など	障害について理解がな			困った
総数	100.0 (529)	60.1	31.2	18.3	14.9	17.8	13.4	11.0	12.7	7.8	4.0	13.6	38.6	1.3	
年齢階級別	29歳以下 (34)	100.0	85.3	41.2	20.6	20.6	26.5	17.6	11.8	11.8	11.8	2.9	11.8	14.7	-
	30～39歳 (118)	100.0	70.3	35.6	22.9	10.2	28.8	15.3	9.3	14.4	14.4	4.2	11.9	29.7	-
	40～49歳 (130)	100.0	69.2	40.0	25.4	20.0	20.8	18.5	17.7	20.0	10.8	4.6	15.4	27.7	3.1
	50～59歳 (111)	100.0	49.5	22.5	12.6	11.7	12.6	9.9	10.8	9.0	2.7	2.7	13.5	49.5	0.9
	60～69歳 (95)	100.0	47.4	23.2	10.5	13.7	9.5	9.5	4.2	5.3	3.2	5.3	13.7	50.5	2.1
	70歳以上 (41)	100.0	39.0	24.4	14.6	19.5	2.4	7.3	9.8	12.2	-	2.4	14.6	61.0	-
	(再掲)総数 65歳以上 (87)	100.0	44.8	25.3	12.6	17.2	5.7	10.3	8.0	10.3	1.1	3.4	14.9	52.9	2.3
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症 (23)	100.0	56.5	34.8	17.4	8.7	13.0	21.7	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3	43.5	-
	統合失調症 (252)	100.0	54.8	28.6	17.1	11.5	16.3	11.5	8.3	9.1	7.1	2.4	10.7	44.0	1.2
	そううつ病、うつ病 (171)	100.0	69.0	33.9	21.6	19.3	22.8	15.2	14.0	18.7	9.4	2.3	17.5	29.8	1.2
	人格障害 (15)	100.0	86.7	53.3	26.7	40.0	40.0	33.3	26.7	20.0	13.3	13.3	6.7	13.3	-
	てんかん (52)	100.0	61.5	38.5	13.5	13.5	17.3	7.7	11.5	7.7	3.8	3.8	17.3	34.6	3.8
15年度調査 (529)	100.0	64.1	34.2	19.3	16.1	20.0	12.5	8.5	13.6	11.7	6.8	14.0	33.6	2.3	

7 社会参加をする上で、妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

「<sup>ひと</sup>周りの人の<sup>しょうがいび</sup>障害者に対する<sup>かい</sup>理解不足」が<sup>しゃかいさんか</sup>社会参加をする上で<sup>うえ</sup>妨げになっている人は22.9%

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「経済的な理由」の割合が24.6%、「周りの人の障害者に対する理解不足」が22.9%とそれぞれ高い。

「経済的な理由」の割合は、前回調査（15年度調査）と比べて4.9ポイント減少した。

「周りの人の障害者に対する理解不足」の割合は、年齢階級別にみると29歳以下が38.2%、診断名別にみるとてんかんが38.5%と高くなっている。（表IV-7-4）

問 <sup>しゃかいさんか</sup>社会参加をする上で、<sup>うえ</sup>妨げになっていることはありますか。

表IV-7-4 社会参加をする上で、妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	経済的な理由	い介助者がいなし	情報がない	理解周りに対する障害者拒否される理由に	施設等を理由に	手が切れない相談相	間一が一緒に行く仲間	その他	特になし	無回答
総数	100.0 (529)	24.6	4.0	11.0	22.9	2.6	10.0	15.7	16.1	33.6	2.8
年齢階級別	29歳以下 (34)	20.6	-	17.6	38.2	5.9	8.8	26.5	8.8	26.5	-
	30～39歳 (118)	30.5	5.1	16.1	29.7	1.7	8.5	22.9	16.9	24.6	3.4
	40～49歳 (130)	28.5	3.8	9.2	24.6	3.8	13.1	17.7	18.5	28.5	3.1
	50～59歳 (111)	27.9	0.9	8.1	22.5	1.8	10.8	10.8	18.0	36.0	0.9
	60～69歳 (95)	16.8	5.3	12.6	10.5	2.1	11.6	8.4	11.6	42.1	6.3
	70歳以上 (41)	7.3	7.3	-	14.6	2.4	-	9.8	17.1	56.1	-
	(再掲)65歳以上 (87)	13.8	8.0	5.7	12.6	1.1	8.0	9.2	11.5	49.4	4.6
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症 (23)	8.7	-	8.7	17.4	4.3	4.3	8.7	8.7	52.2	4.3
	統合失調症 (252)	23.4	4.4	12.7	23.8	2.0	9.5	17.5	14.7	32.5	2.0
	そううつ病、うつ病 (171)	29.8	3.5	12.3	23.4	1.8	14.6	18.7	18.1	29.8	2.9
	人格障害 (15)	26.7	-	13.3	26.7	6.7	13.3	13.3	26.7	40.0	-
	てんかん (52)	21.2	1.9	5.8	38.5	3.8	3.8	7.7	19.2	26.9	7.7
	その他 (85)	28.2	7.1	12.9	15.3	3.5	11.8	15.3	18.8	31.8	3.5
15年度調査	100.0 (529)	29.5	9.1	14.2	25.7	2.1	18.3	15.5	11.5	29.9	5.5

8 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

障害のためにあきらめたり妥協したことは、「就職」が最も高く41.0%

障害のためにあきらめたり妥協したことの割合は、「就職」が41.0%、「旅行や遠距離の外出」が37.6%、「人付き合い」が29.7%とそれぞれ高くなっている。

年齢階級別にみると「就職」の割合は40代が高く56.2%、「旅行や遠距離の外出」の割合は70歳以上で43.9%と高く、「人付き合い」の割合は30代で38.1%と高い。

診断名別にみると「就職」の割合はてんかんが高く55.8%、「人付き合い」の割合は人格障害で60.0%と高くなっている。(表IV-7-5)

あなたは障害を持っているためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。

表IV-7-5 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

一年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	進学	就職	異性との付き合い	結婚	出産・育児	人付き合い	近距離の外出	旅行や遠距離の外出	ファッションな	スポーツ・文化	その他	特にな	無回答	
総数	100.0 (529)	10.8	<u>41.0</u>	22.3	25.0	11.2	<u>29.7</u>	15.9	<u>37.6</u>	13.4	18.1	4.2	22.5	3.0	
年齢階級別	29歳以下 (34)	100.0	20.6	44.1	26.5	11.8	29.4	11.8	38.2	8.8	14.7	-	26.5	-	
	30～39歳 (118)	100.0	19.5	48.3	37.3	36.4	20.3	<u>38.1</u>	16.9	39.0	17.8	1.7	18.6	1.7	
	40～49歳 (130)	100.0	10.8	<u>56.2</u>	27.7	36.2	15.4	36.9	16.9	43.1	21.5	25.4	4.6	13.8	2.3
	50～59歳 (111)	100.0	4.5	41.4	14.4	19.8	5.4	21.6	13.5	27.0	6.3	17.1	8.1	23.4	1.8
	60～69歳 (95)	100.0	6.3	24.2	11.6	13.7	2.1	22.1	14.7	37.9	9.5	17.9	4.2	30.5	7.4
	70歳以上 (41)	100.0	4.9	7.3	4.9	7.3	4.9	22.0	22.0	<u>43.9</u>	7.3	7.3	2.4	36.6	4.9
	(再掲)65歳以上 (87)	100.0	3.4	11.5	6.9	8.0	3.4	23.0	17.2	42.5	8.0	12.6	3.4	36.8	8.0
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症 (23)	100.0	8.7	47.8	21.7	8.7	4.3	21.7	-	34.8	17.4	21.7	4.3	26.1	4.3
	統合失調症 (252)	100.0	12.3	40.9	25.4	31.0	15.1	29.8	14.3	35.7	13.9	14.7	3.6	24.6	2.8
	そううつ病、うつ病 (171)	100.0	8.8	40.4	24.6	25.1	11.1	36.3	19.3	45.0	16.4	24.6	5.3	19.3	1.8
	人格障害 (15)	100.0	20.0	46.7	26.7	26.7	13.3	<u>60.0</u>	33.3	60.0	33.3	53.3	6.7	20.0	-
	てんかん (52)	100.0	13.5	<u>55.8</u>	28.8	34.6	17.3	26.9	11.5	36.5	5.8	23.1	3.8	9.6	1.9
	その他 (85)	100.0	9.4	35.3	11.8	10.6	7.1	36.5	21.2	49.4	16.5	28.2	4.7	17.6	3.5
15年度調査	100.0 (87)	11.0	42.3	21.7	26.5	8.9	29.7	12.1	31.0	9.8	18.7	4.7	24.0	2.5	

9 成年後見制度の利用意向－障害の等級、診断名〔複数回答〕、回答者別

成年後見制度を利用したいと思っている割合は障害等級1級の人で25.0%

成年後見制度を利用するつもりがあるが聞いたところ「わからない（32.3%）」と「利用したいと思わない（27.2%）」の割合が高く、「今後利用したい」の割合は14.0%であった。

障害の等級別にみると「今後利用したい」の割合は、1級が25.0%と高い。（図IV-9-7）

問 あなたは、成年後見制度を利用するつもり（予定）がありますか。

図IV-9-7 成年後見制度の利用意向－障害の等級、診断名〔複数回答〕、回答者別

